
920MHz帯 無線ユニット [入出力タイプ]

設定用ユーティリティ
(SWL90-UT1)

ユーザーズマニュアル

このたびは、当社の 920MHz 帯無線ユニット[入出力タイプ] (以下:無線ユニット)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

無線ユニットを正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本書をよくお読みいただき、無線ユニットの機能・性能を十分ご理解のうえ、正しくご使用くださるようお願い致します。

ご注意

1. 許可なく、本ユーザーズマニュアルの無断転載をしないでください。
2. 記載事項は、お断りなく変更することがありますので、ご了承ください。
3. 本製品は、国内電波法にもとづく仕様となっておりますので、日本国外では使用しないでください。

 三菱電機システムサービス株式会社

◆ 使用上のご注意

- パラメータ書き込み中に以下のことを行わないでください。故障の原因となります。
 - ・無線ユニットの電源を切る。
 - ・USB ケーブルを抜くなど、パソコンと無線ユニットの通信を切断する。
- パソコンに USB ポートが複数ある場合、無線ユニットを接続するポートを決めてご使用いただくことをお勧めいたします。無線ユニットを接続する USB ポートを変更致しますと、ドライバのインストールが再度必要になります。

◆ ソフトウェアバージョン対応表

ご購入頂いたユニットのバージョンと使用可能な増設ユニット、追加機能をご確認ください。

ユーティリティ [SWL90-UT1] S/W Ver.	親局 [SWL90-ETMC] S/W Ver.	子局 [SWL90-R4ML] S/W Ver.
1.00	1.00	1.00
	1.01	1.01
	1.02	1.02

※S/W Ver. 2.00 以降の親局、子局に本ユーティリティを使用することは出来ません。

S/W Ver. 2.00 以降の親局、子局をご使用のお客様は設定ユーティリティ [SWL90-UT3] をご使用ください。

[SWL90-UT3] は当社ホームページ (<http://www.melco.co.jp/business/>) よりダウンロードできます。

◆ ファイル構成

【WindowsXP 用】

ファイル名称	内容
ダウンロードファイル	
└ SWL-UT1_forXP.exe	設定ユーティリティ本体
└ Driver	PC 通信用ドライバ
└ CDC_Demo.inf	(インストール方法については2章をご参照下さい。)
└ Sample	設定サンプル
└ Sample1	(詳細は5章をご参照ください。)
└ Sample2	
└ Sample3	
└SWL90 設定ユーティリティ取扱説明書.pdf	本書

【Windows7 用】

ファイル名称	内容
ダウンロードファイル	
└ SWL-UT1_for7.exe	設定ユーティリティ本体
└ Driver	PC 通信用ドライバ
└ CDC_Demo_Win7.inf	(インストール方法については2章をご参照下さい。)
└ Sample	設定サンプル
└ Sample1	(詳細は5章をご参照ください。)
└ Sample2	
└ Sample3	
└SWL90 設定ユーティリティ取扱説明書.pdf	本書

◆ 目次

使用上のご注意	A-1
ソフトウェアバージョン対応表	A-1
ファイル構成	A-2

第1章 概要	1-1
---------------	------------

1.1. 概要	1-2
1.2. 免責事項	1-2
1.3. 動作環境	1-2

第2章 インストール手順	2-1
---------------------	------------

2.1. ユーティリティ使用準備	2-2
2.1.1. パソコンと無線ユニットの接続	2-2
2.1.2. ドライバのインストール (Windows7)	2-2
2.1.3. ドライバのインストール (WindowsXP)	2-9
2.1.4. ユーティリティの起動/終了	2-15
2.1.5. .Net Framework のインストール	2-15
2.1.6. 接続 COM ポート確認手順	2-16

第3章 使用方法	3-1
-----------------	------------

3.1. ユーティリティ使用手順	3-2
3.2. 無線ユニットとの通信確認	3-3
3.3. ユーティリティでの設定作成	3-4
3.4. 無線ユニットへの設定書き込み	3-5
3.5. 設定ファイルの保存	3-7
3.6. 保存した設定ファイルの読み出し	3-8
3.7. 無線ユニットからの設定を読み出し	3-9
3.8. パソコンから無線ユニットを取り外す	3-9

第 4 章	画面詳細	4-1
4. 1.	メイン画面	4-2
4. 1. 1.	共通設定	4-3
4. 1. 2.	自局設定	4-4
4. 2.	Ethernet 設定画面	4-5
4. 2. 1.	自局設定画面	4-5
4. 2. 2.	Ethernet 相手局設定画面	4-6
	ルータ設定画面	4-7
4. 3.	パルスカウント設定画面	4-8
4. 4.	増設ユニット設定画面	4-9
4. 4. 1.	増設設定画面	4-9
4. 4. 2.	アナログ Ch 設定画面	4-10
4. 5.	シート切り替えタグ	4-11
付録	設定サンプル詳細	1
付録 1	サンプルファイル 1 (1:1 通信・増設あり)	2
	付録 1 1:N 通信／ツリーモードで使用する場合	2
付録 2	サンプルファイル 2 (1:N 通信・ツリーモード)	5
	付録 2 1:N 通信／ツリーモードで使用する場合	5
付録 3	サンプルファイル 3 (1:M 通信・メッシュモード)	9
	付録 3 1:N 通信の場合／メッシュモードで使用する場合	9

第 1 章

第1章 概要

1. 1. 概要	1-2
1. 2. 免責事項	1-2
1. 3. 動作環境	1-2

1. 1. 概要

本ユーティリティは弊社製 920MHz 帯 無線ユニット（入出力タイプ） SWL90-ETMC/R4ML（以下無線ユニット）専用設定ユーティリティです。ほかの製品にはご使用になれませんのでご注意ください。

1. 2. 免責事項

本ユーティリティは、無線ユニットの設定書き込みユーティリティです。

本ユーティリティを使用した設定変更による設定内容及びデータ、誤作動については一切の責任を負いません。

1. 3. 動作環境

本製品の動作環境は次の通りです。

表 1.3 動作環境

項番	項目	仕様	備考
1	CPU	Pentium 1.7Ghz 以上	
2	ハードディスク容量	20MByte	
3	必要メモリ容量	Windows XP : 512MB、Windows7 : 1GB 以上（推奨）	
4	OS	Windows XP、Windows 7	
5	ディスプレイ解像度	1024×768 以上 6 万色以上推奨	
6	その他環境	タッチパネル未対応 .net Frameworks2.0(Windows XP)※ .net Frameworks4.0(Windows 7)※	

※インストールされていない場合は Microsoft 社のホームページよりダウンロードしてください。

第 2 章

第2章 インストール手順

2.1. ユーティリティ使用準備	2-2
2.1.1 パソコンと無線ユニットの接続	2-2
2.1.2 ドライバインストール(Windows7)	2-2
2.1.3 ドライバインストール(WindowsXP)	2-9
2.1.4 ユーティリティの起動/終了	2-15
2.1.5 .Net Framework のインストール	2-15
2.1.6 接続 COM ポート確認手順	2-16

2. 1. ユーティリティ使用準備

2. 1. 1. パソコンと無線ユニットの接続

1. 本体右側面の USB ポートに USB (mini-B) コネクタを、パソコン本体に USB (A) コネクタを接続します。
2. 「SET」 ボタンを押しながら電源を入れてください。
7 セグ表示が「USB」 となれば起動成功です。
7 セグ表示が「USB 以外」 の場合、
電源を入れなおしてください。

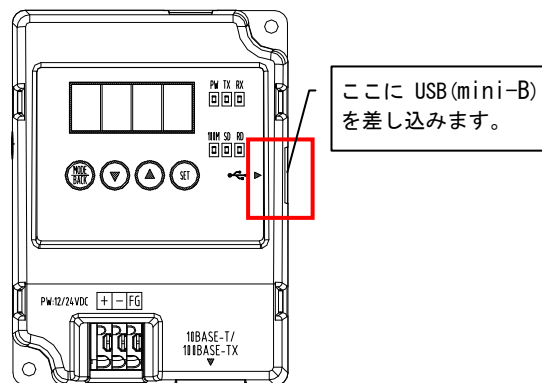


図 2. 1. 1 USB ポート

※USB ケーブルはお客様にてご用意いただきますようお願いいたします。

!!! 注意事項 !!!

パソコンに USB ポートが複数ある場合、無線ユニットを接続するポートを決めてご使用いただくことをお勧めいたします。無線ユニットを接続する USB ポートを変更しますと、ドライバのインストールが再度必要になります。

2. 1. 2. ドライバのインストール (Windows7)

パソコンに無線ユニットユーティリティ用のドライバをインストールします。

1. 「スタート」⇒「コントロールパネル」より、「デバイスマネージャー」を起動してください。
(コントロールパネルがカテゴリ表示の場合、「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「ハードウェアとサウンド」より「デバイスマネージャー」を起動してください。)

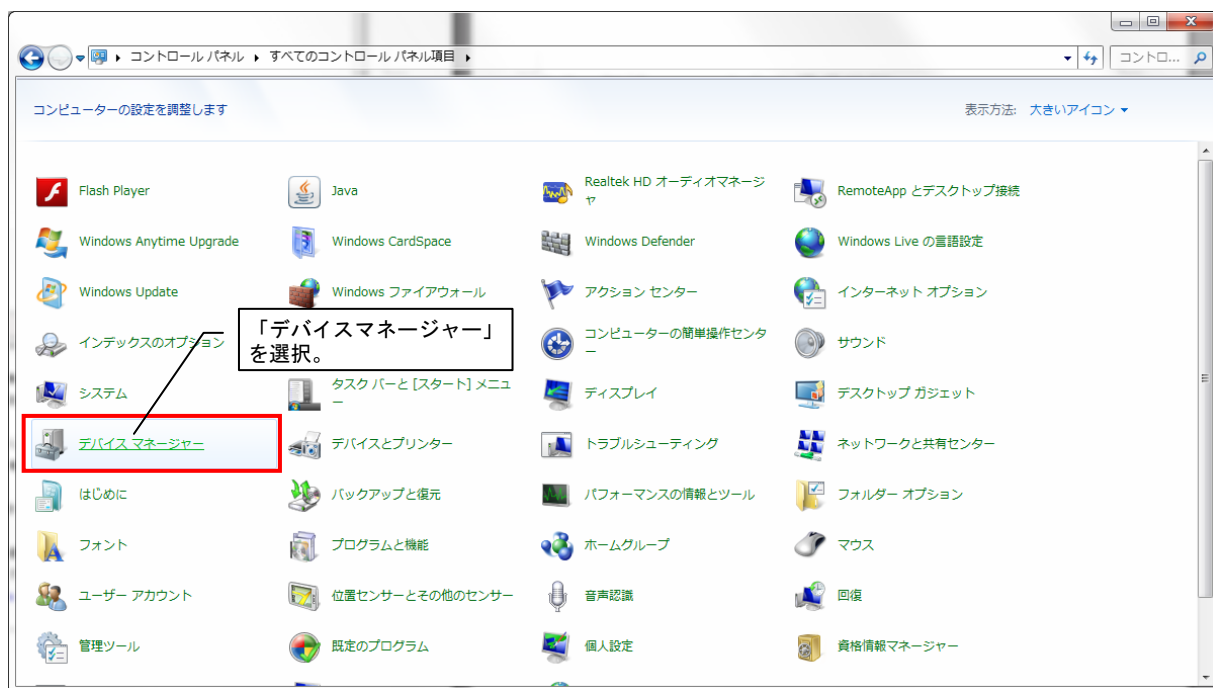


図 2. 1. 2-1 コントロールパネル

2. 「ほかのデバイス」にある「CDC USB Demonstration」を右クリックし、「ドライバーソフトウェアの更新」を選択してください。

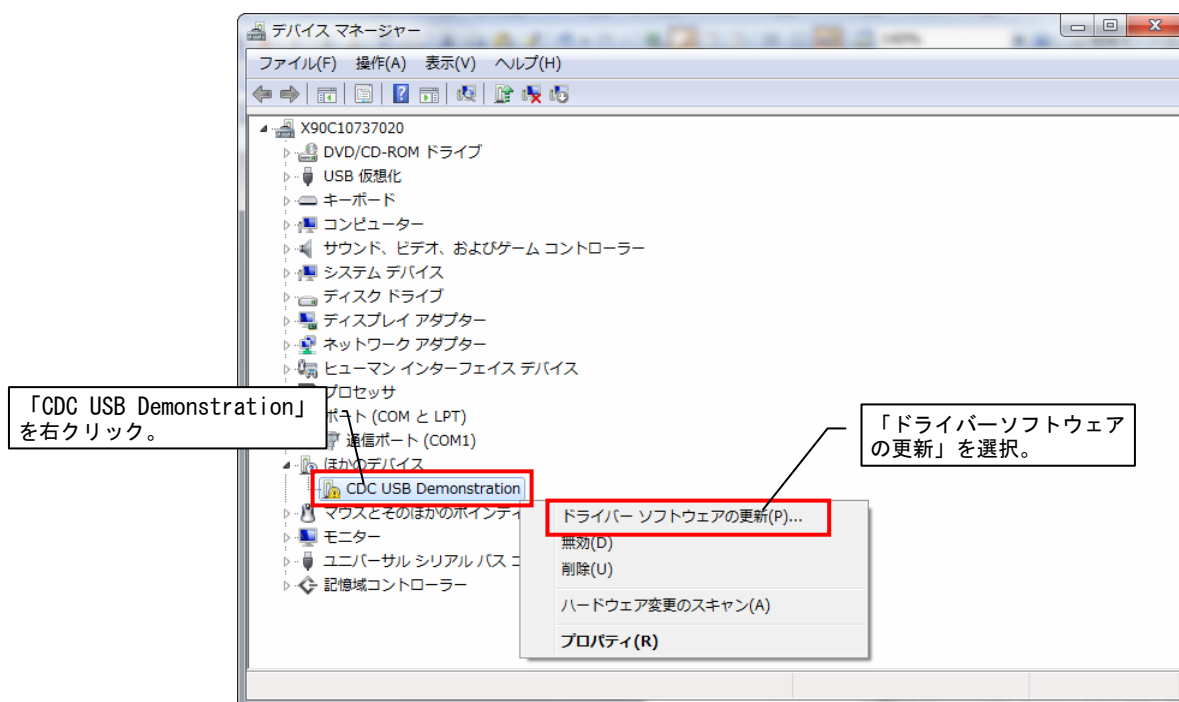


図 2.1.2-2 デバイスマネージャー

3. 以下のようなダイアログが表示されますので、「コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します。」を選択します。

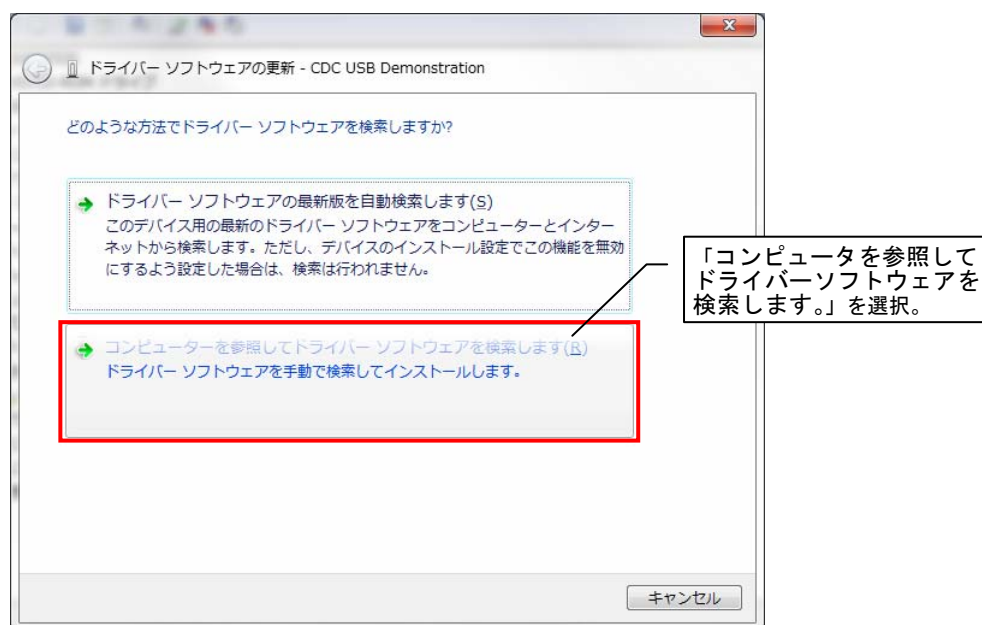


図 2.1.2-3 ドライバーソフトウェアの更新 1

4. 以下のようなダイアログが表示されますので、「コンピュータ上のデバイスドライバーの一覧から選択します。」を選択します。

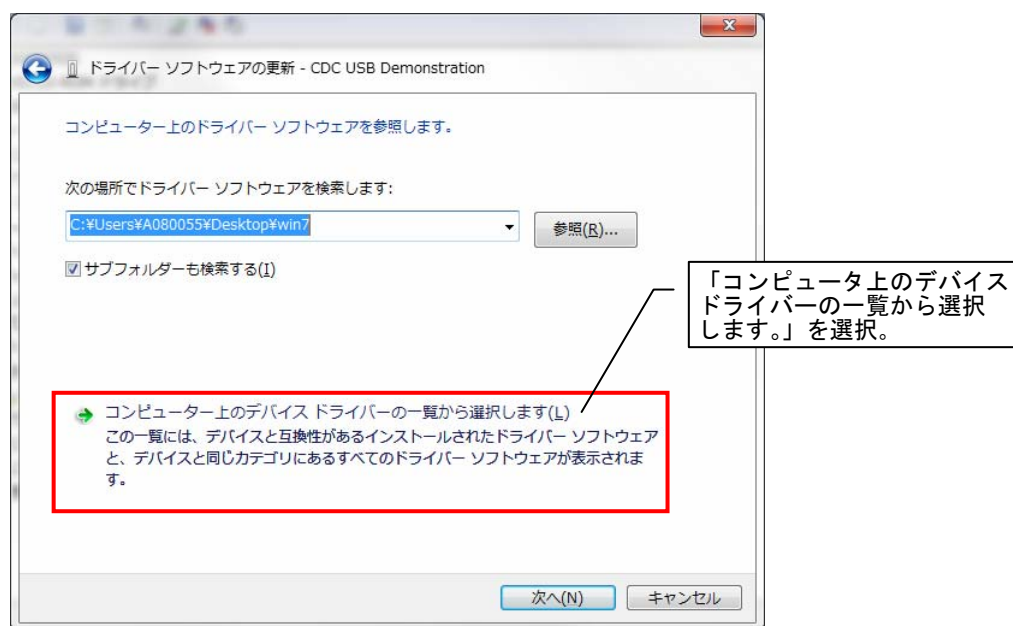


図 2.1.2-4 ドライバーソフトウェアの更新 2

5. 以下のようなデバイス種別選択画面が出てきますので、「全てのデバイスを表示」を選択し、「次へ」をクリックします。

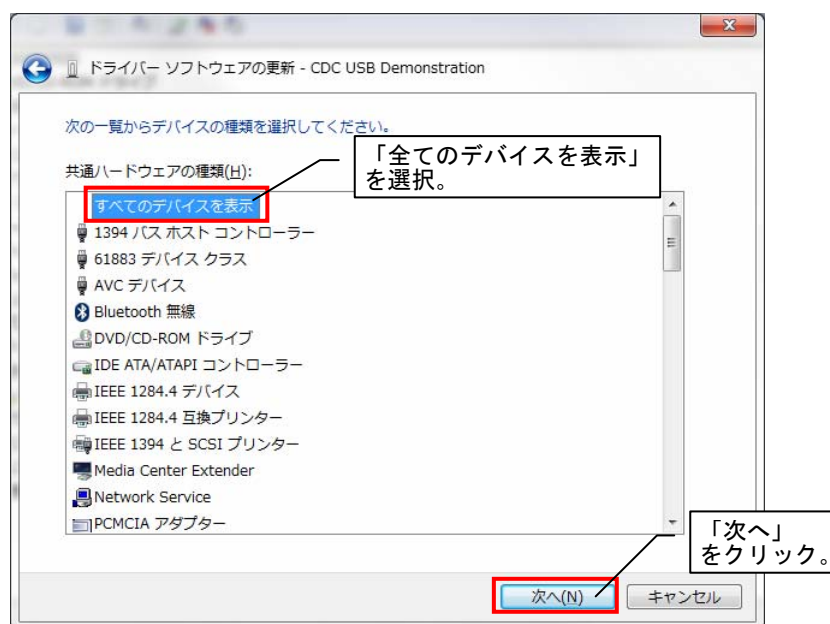


図 2.1.2-5 デバイス種別選択画面

6. 以下のようなドライバー選択ダイアログが表示されますので、「ディスク使用」をクリックします。

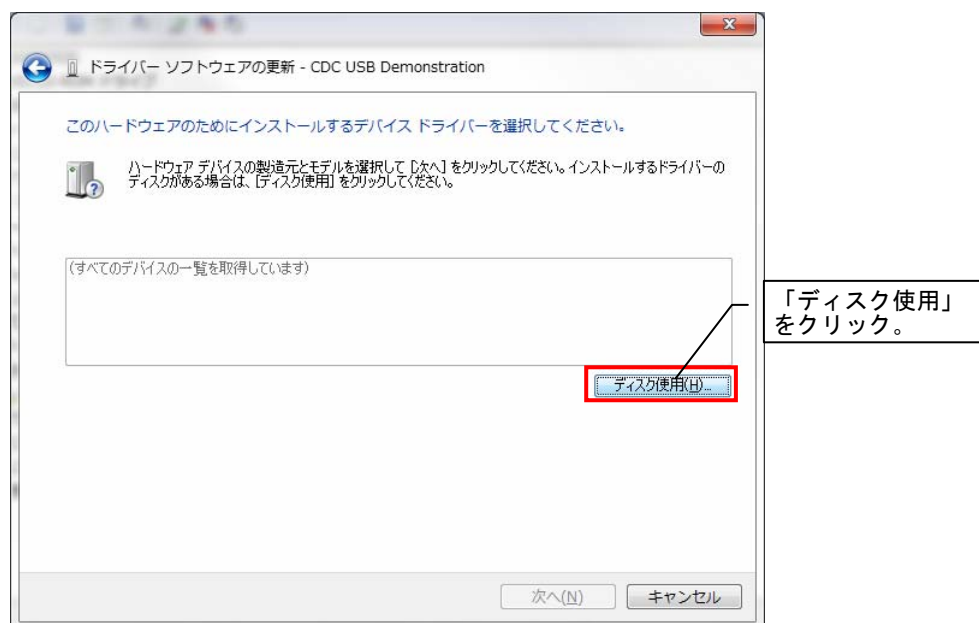


図 2. 1. 2-6 ドライバー選択ダイアログ

7. 以下のような参照元設定ダイアログが表示されますので「参照」ボタンをクリックします。

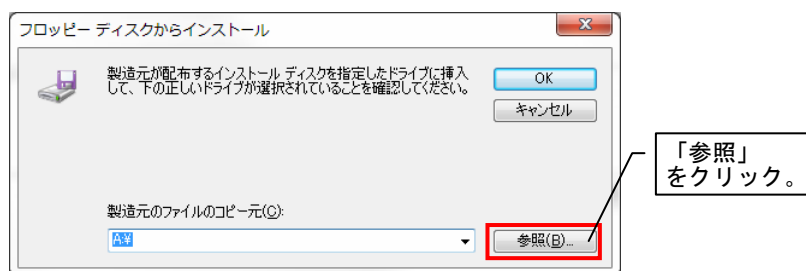


図 2. 1. 2-7 ドライバー参照元設定ダイアログ

8. 以下のようなファイルの場所指定ダイアログが表示されますので、ダウンロードフォルダ内の「driver」より、「CDC_Demo_Win7.inf」を選択し、「開く」をクリックします。

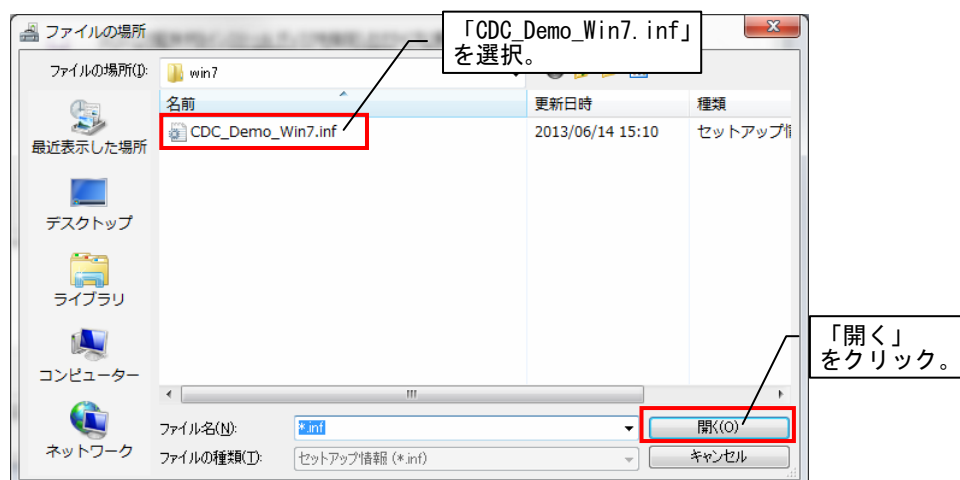


図 2. 1. 2-8 ドライバーファイルの場所指定ダイアログ

9. 「製造元のファイルのコピー元」に正しいアドレスが表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

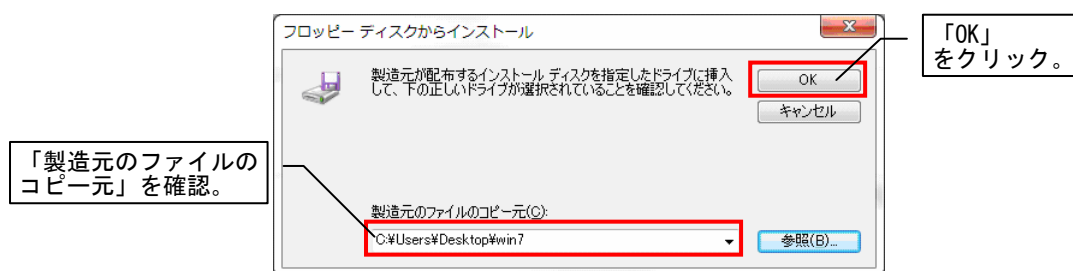


図 2. 1. 2-9 インストールドライバーの確認 1

10. モデルに「CDC USB for Utility」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

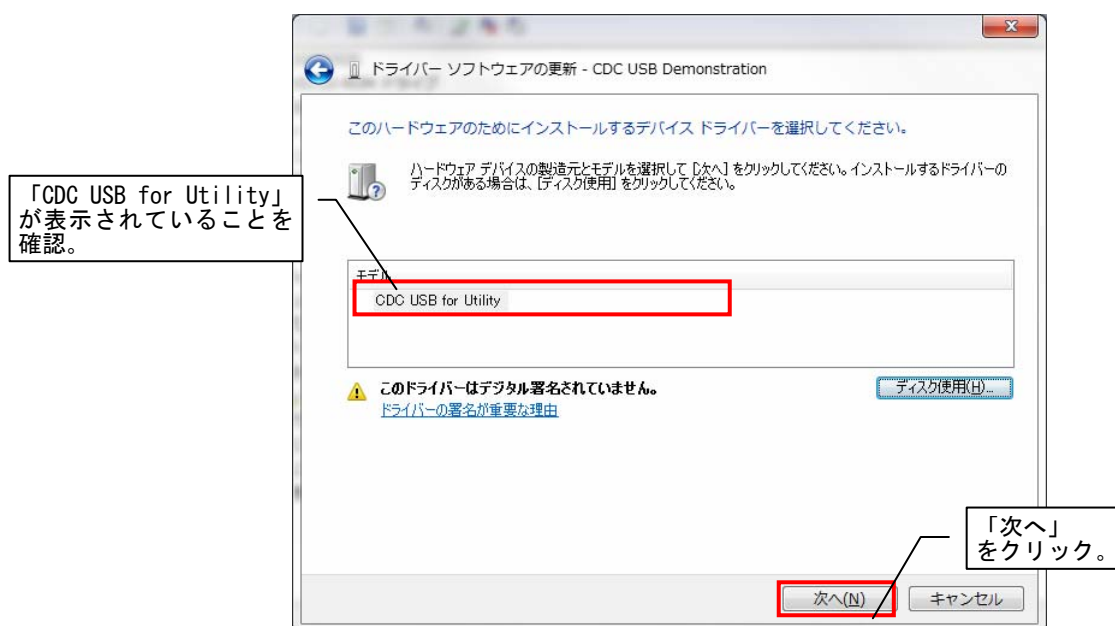


図 2. 1. 2-10 インストールドライバーの確認 2

11. 以下のような警告ダイアログが表示される場合がありますが、「はい」ボタンをクリックしてください。

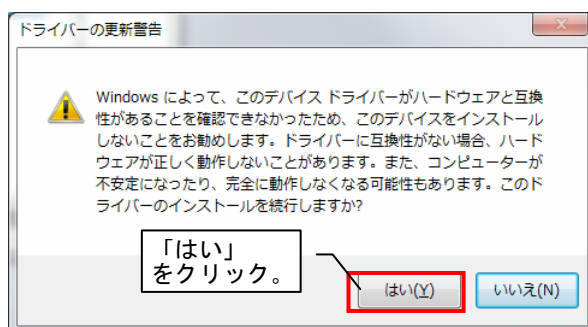


図 2. 1. 2-11 ドライバー更新警告

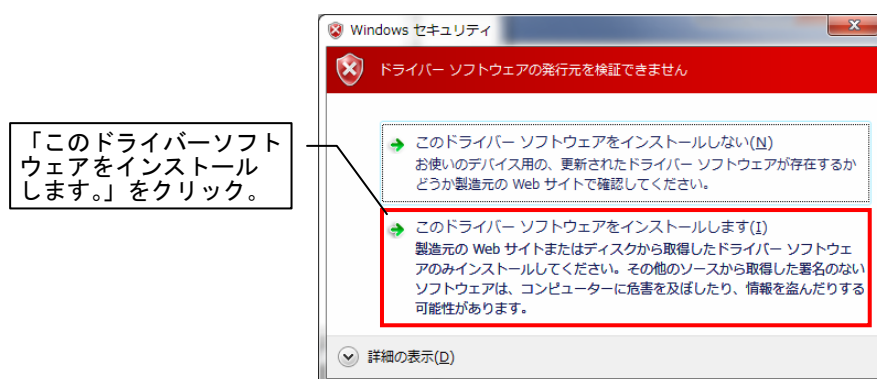


図 2. 1. 2-12 Windows セキュリティ警告

12. ドライバーソフトウェアのインストールが開始します
インストールが完了するまで 5 分ほどお待ちください。

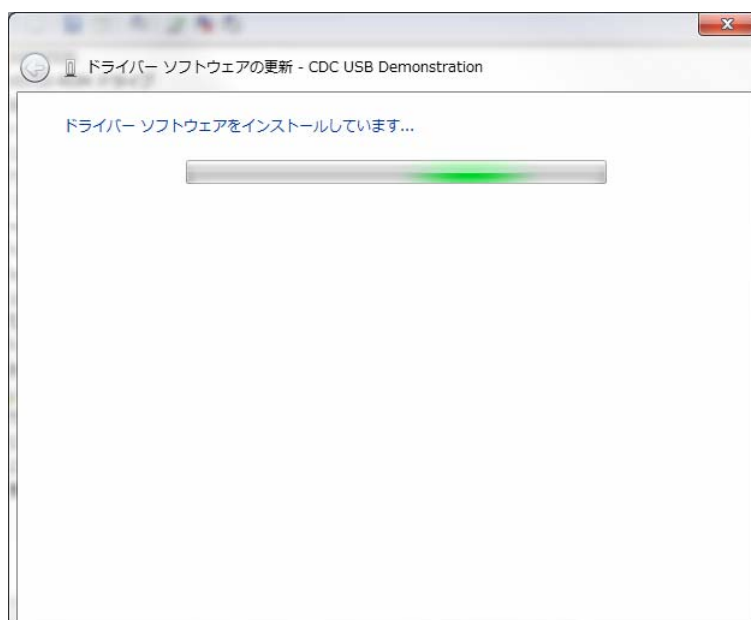


図 2. 1. 2-13 ドライバーインストール

13. ドライバーのインストールが正常に完了した場合、以下のような画面が表示されます。

「閉じる」ボタンをクリックしてください。

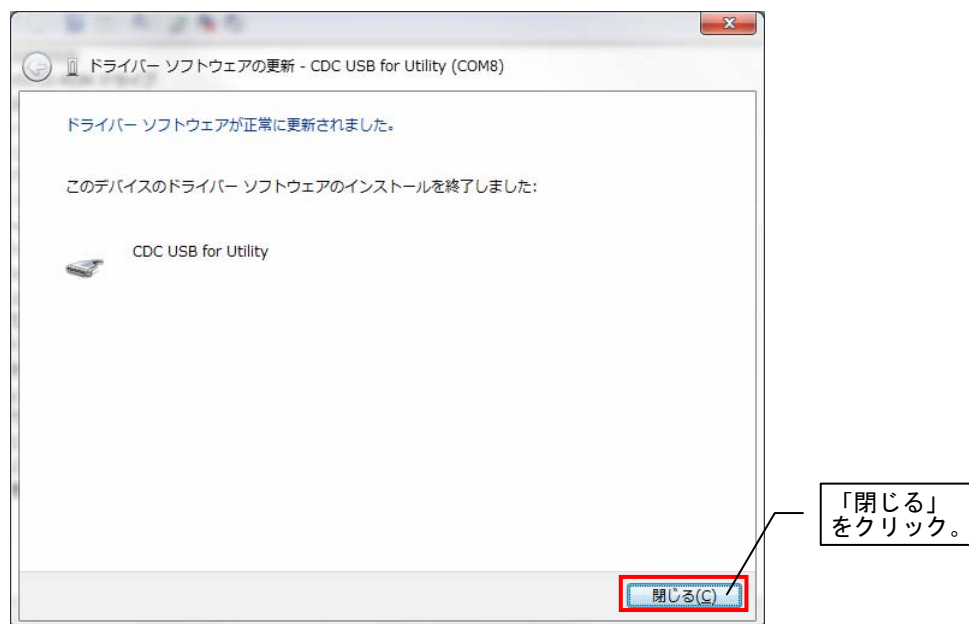


図 2.1.2-14 ドライバーインストール完了

14. ドライバーのインストールが完了いたしましたら、「デバイスマネージャー」の「ほかのデバイス」項目（又は「ほかのデバイス」項目内の「CDC USB Demonstration」）が消え、「ポート (COM と LPT)」に「CDC USB for Utility」が表示されていることをご確認ください。

（CDC USB for Utility のポート番号は通信確認などで使用いたしますので、ポート番号を控えておくことをお勧めします。）

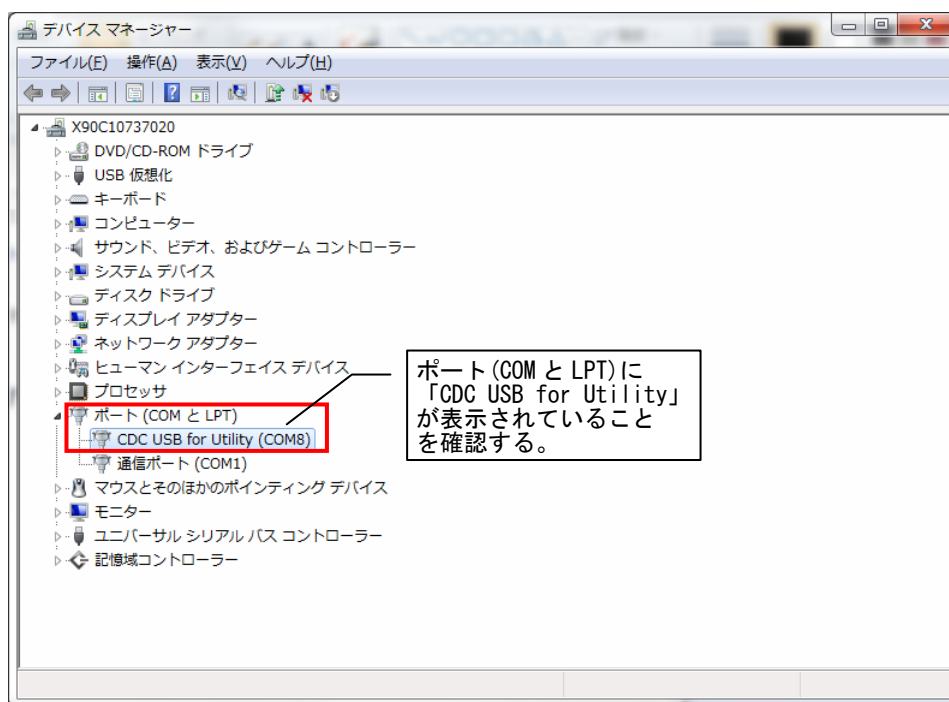


図 2.1.2-15 ドライバーインストール確認

以上でドライバーのインストールは完了です。

2.1.3. ドライバーのインストール (WindowsXP)

1. 「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「システム」より、システムのプロパティを起動し、
(コントロールパネルがカテゴリ表示の場合は「パフォーマンスとメンテナンス」⇒「システム」となります。)
「ハードウェア」タグの「デバイスマネージャー」をクリックします。

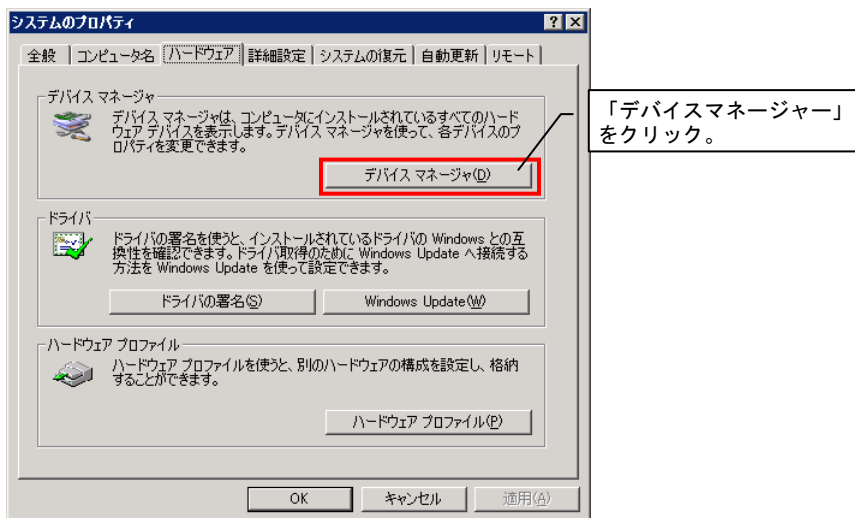


図 2.1.3-1 システムのプロパティ

2. 「ほかのデバイス」にある「CDC USB Demonstration」を右クリックし、「ドライバの更新」を選択してください。

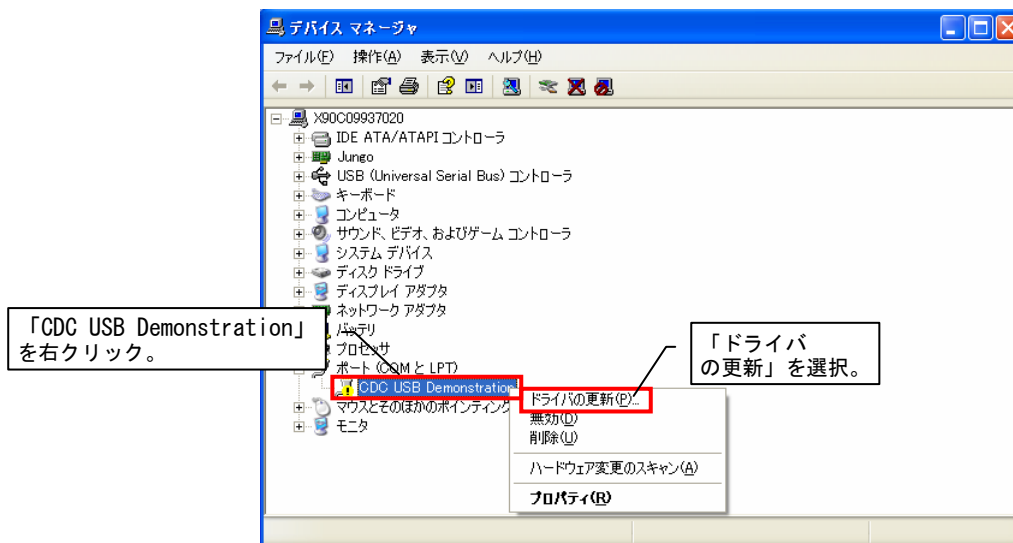


図 2.1.3-2 デバイスマネージャー

3. 以下のようなダイアログが表示されますので、「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、「次へ」をクリックします。

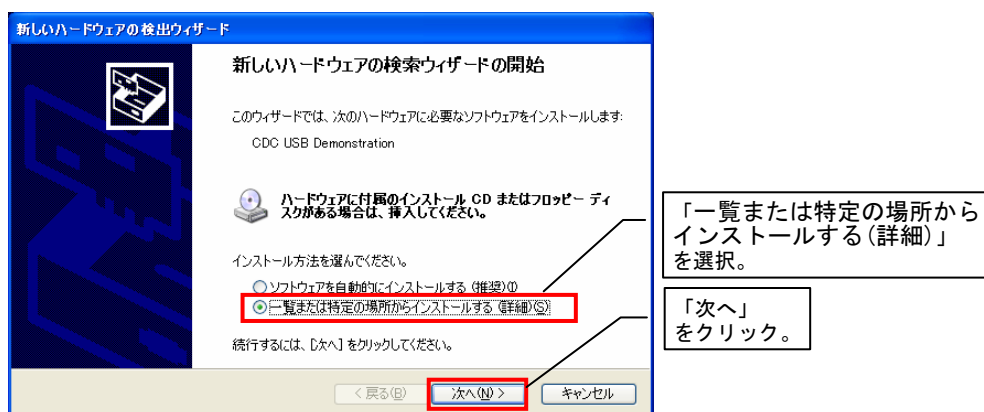


図 2. 1. 3-3 ハードウェアの検出ダイアログ 1

4. 以下のようなダイアログが表示されますので、「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。

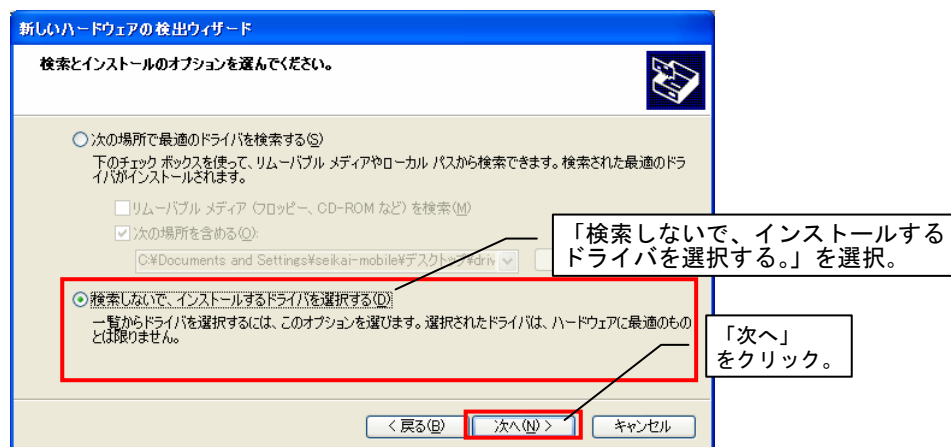


図 2. 1. 3-4 ハードウェアの検出ダイアログ 2

5. 以下のようなデバイス種別選択画面が出てきますので、「すべてのデバイスを表示」を選択し、「次へ」をクリックします。

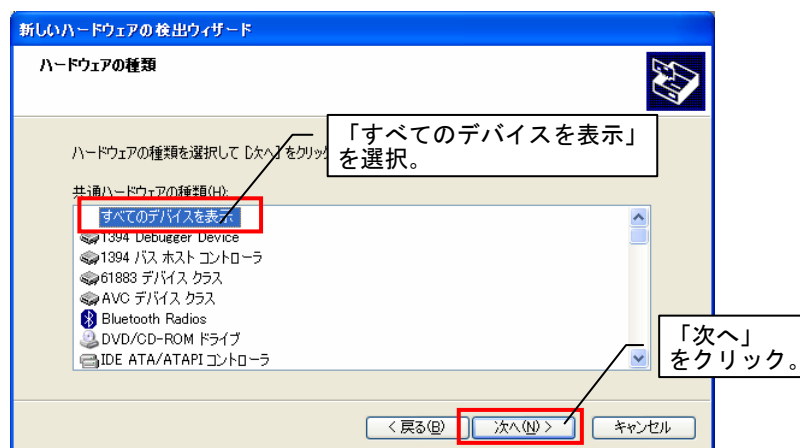


図 2. 1. 3-5 ハードウェアの種類選択ダイアログ

6. 以下のようなドライバ選択ダイアログが表示されますので、「ディスク使用」をクリックします。

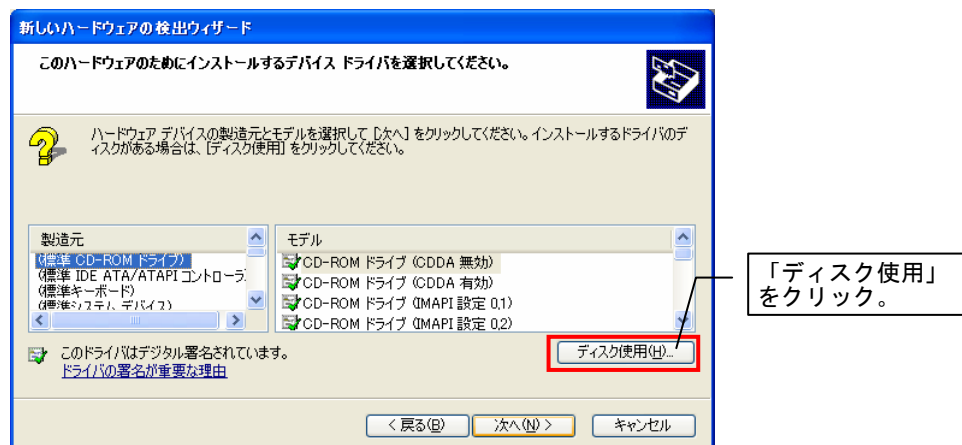


図 2.1.3-6 ドライバ選択ダイアログ

7. 以下のような参照元設定ダイアログが表示されますので「参照」ボタンをクリックします。

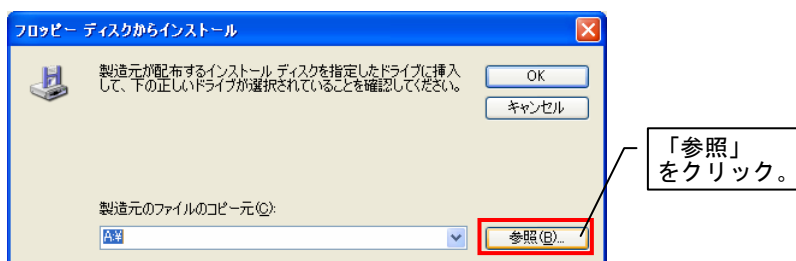


図 2.1.3-7 ドライバー参照元設定ダイアログ

8. 以下のようなファイルの場所指定ダイアログが表示されますので、フォルダ内の「driver」⇒「occ_inf」⇒「other」より、「CDC_Demo.inf」を選択します。

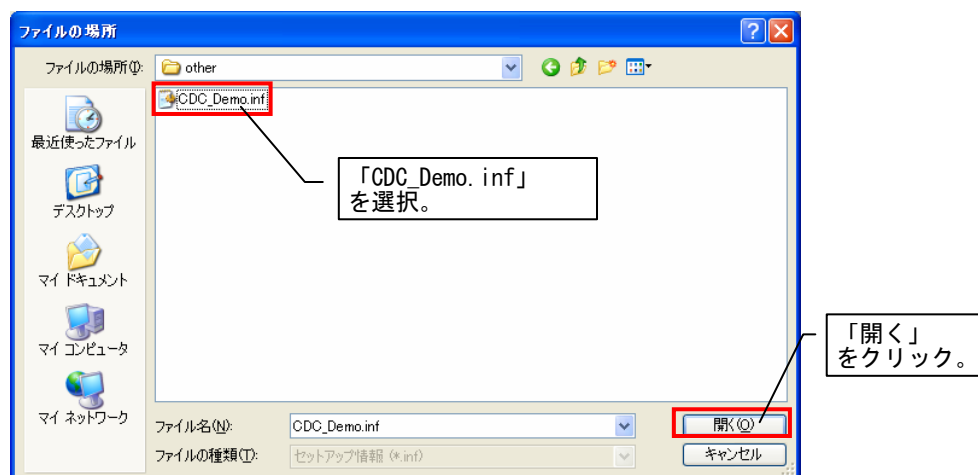


図 2.1.3-8 ドライバーファイルの場所指定ダイアログ

9. 「製造元のファイルのコピー元」に正しいアドレスが表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

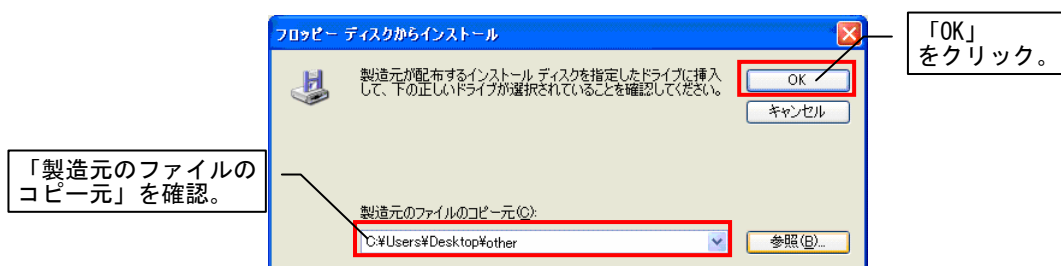


図 2.1.3-9 インストールドライバーの確認 1

10. モデルに「CDC USB for Utility」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

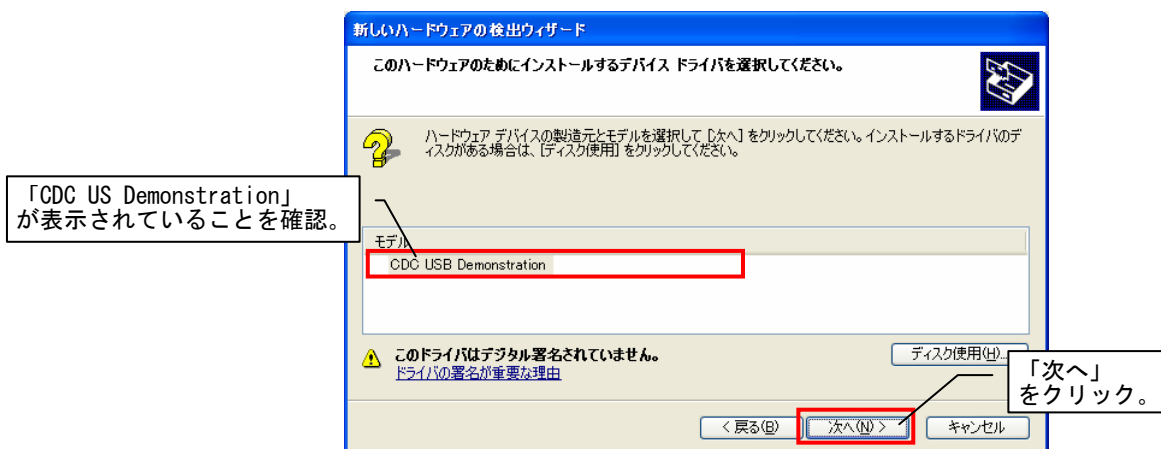


図 2.1.3-10 インストールドライバーの確認 2

11. 以下のような警告ダイアログが表示される場合がありますが、「はい」ボタンをクリックしてください。

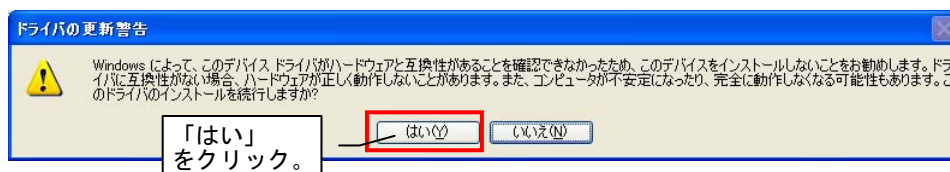


図 2.1.3-11 ドライバの更新警告ダイアログ

12. ドライバーソフトウェアのインストールが始まります
インストールが完了するまで 5 分ほどお待ちください。



図 2.1.3-12 ドライバソフトウェアインストール画面

インストール中に以下のようなダイアログが表示される場合は「続行」をクリックしてください。

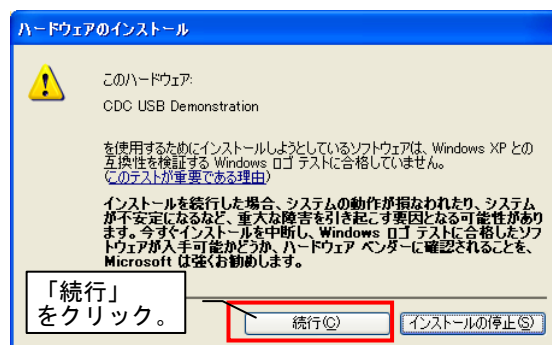


図 2.1.3-13 ハードウェアのインストールダイアログ

13. ドライバーのインストールが正常に完了した場合、以下のような画面が表示されます。
- 「完了」ボタンをクリックしてください。



図 2.1.3-14 新しいハードウェアの検索ウィザード完了ダイアログ

14. ドライバーのインストールが完了いたしましたら、「デバイスマネージャ」の「ほかのデバイス」項目（又は「ほかのデバイス」項目内の「CDC USB Demonstration」）が消え、「ポート (COM と LPT)」に「CDC USB for Utility」が表示されていることをご確認ください。
- (CDC USB for Utility のポート番号は通信確認などで使用いたしますので、ポート番号を控えておくことをお勧めします。)

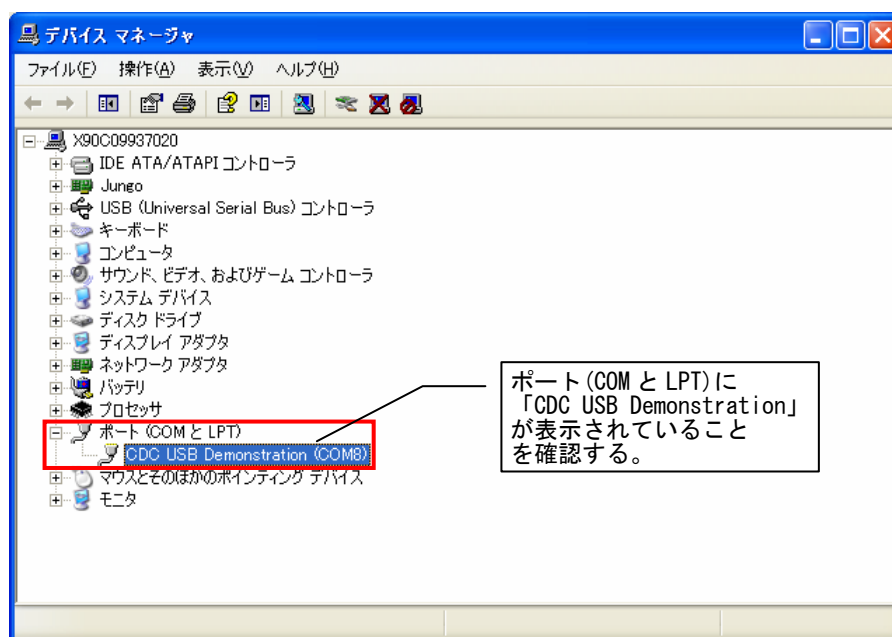


図 2.1.3-15 デバイスマネージャの確認

以上でドライバーのインストールは完了です。

2.1.4. ユーティリティの起動/終了

- ・ 起動

ドライバーをインストールしたら、ユーティリティを起動します。

ダウンロードしたフォルダ内の「SWL90-Utility.exe」をダブルクリックし、ユーティリティを起動してください。

- ・ 終了

画面右上の「×」ボタンをクリックすると下記のようなダイアログが表示されます。

現在の入力内容を保存する場合は「はい(Y)」をクリックし、ファイルを保存して終了してください。

保存しない場合は「いいえ(N)」をクリックし、終了してください。

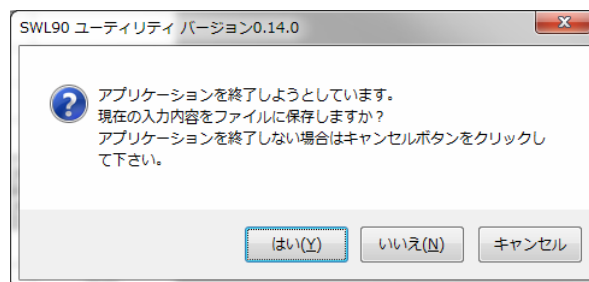


図 2.1.4 終了確認ダイアログ

2.1.5. .Net Frameworkのインストール

以下のようなダイアログが表示された(必要な .Net Framework が入っていない)場合は、Microsoft 社のホームページより .Net Framework をダウンロードし、インストールしてください。



図 2.1.5 .Net Framework エラーダイアログ

2.1.6. 接続 COM ポート確認手順

【Windows7 の場合】

1. 「スタート」⇒「コントロールパネル」より、「デバイスマネージャー」を起動してください。
(カテゴリ表示の場合、「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「ハードウェアとサウンド」より「デバイスマネージャー」を起動してください。)

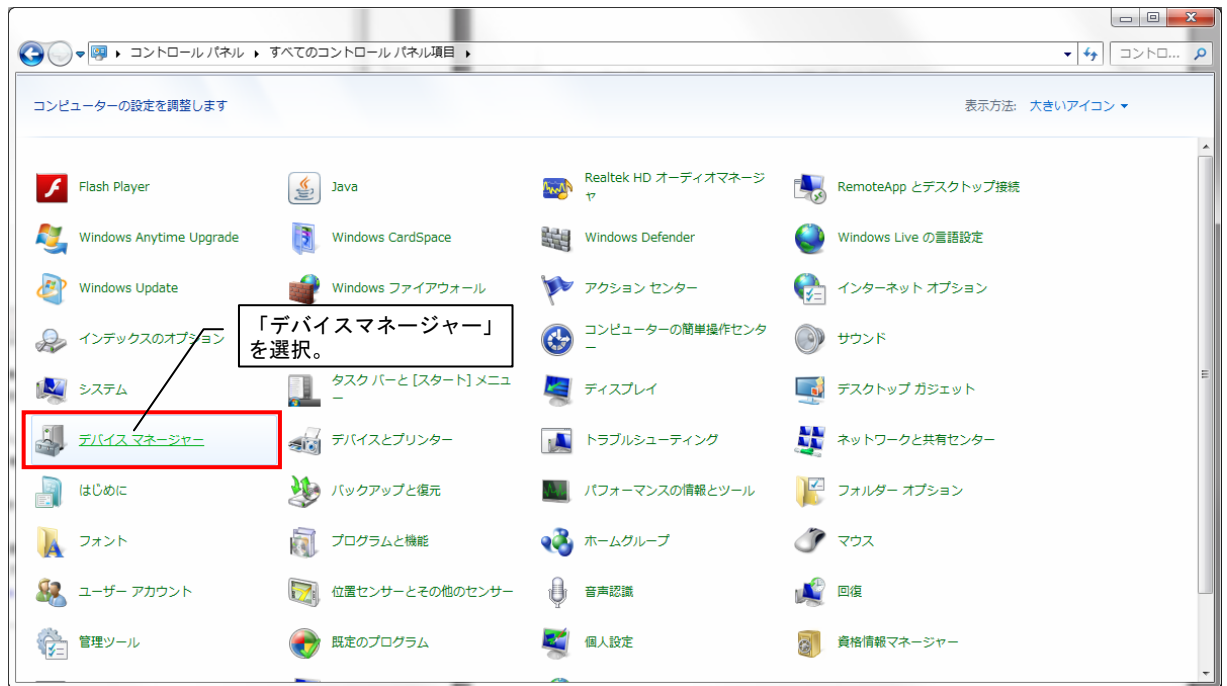


図 2.1.6-1 コントロールパネル

2. 「ポート (COM と LPT)」にある「CDC USB for Utility」の後に記載されている COM 番号をご確認ください。

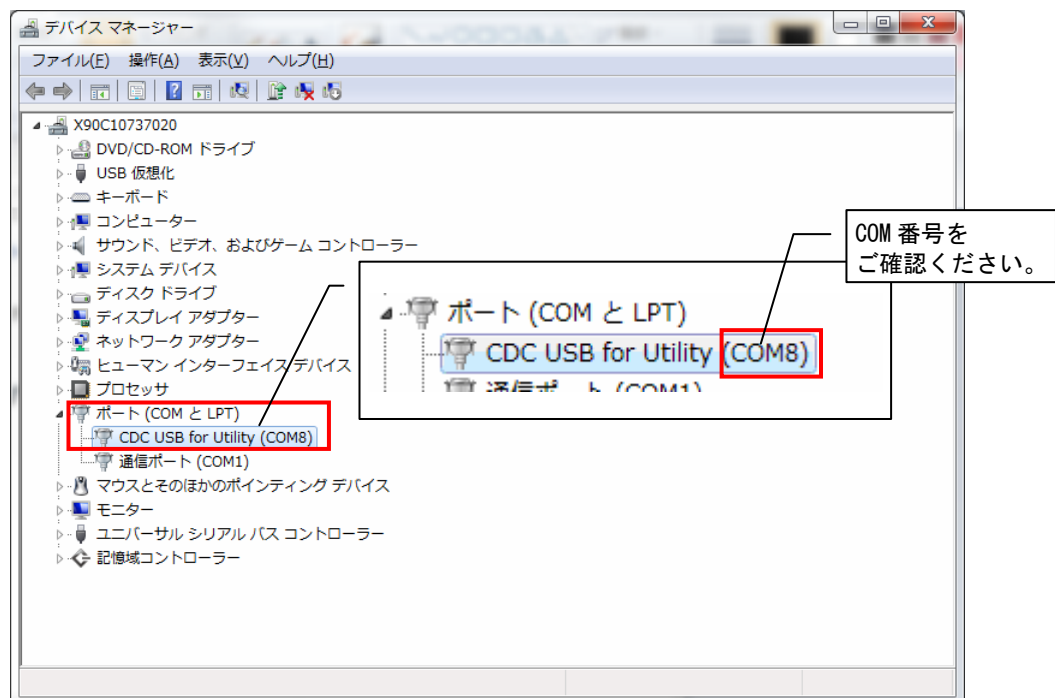


図 2.1.6-2 COM ポートの確認

【WindowsXP の場合】

1. 「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「システム」より、システムのプロパティを起動し、
(コントロールパネルがカテゴリ表示の場合は「パフォーマンスとメンテナンス」⇒「システム」となります。)
「ハードウェア」タグの「デバイスマネージャー」をクリックします。

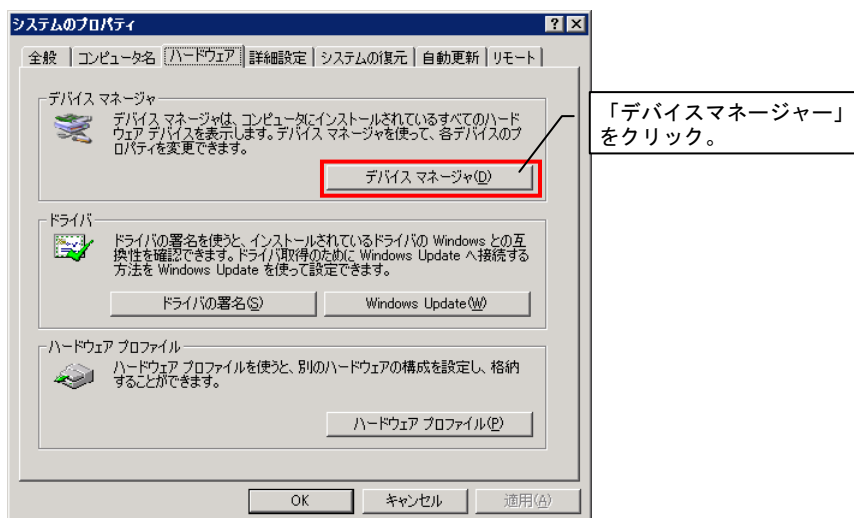


図 2. 1. 6-3 システムのプロパティ

2. 「ポート (COM と LPT)」にある「CDC USB for Utility」の後に記載されている COM 番号をご確認ください。

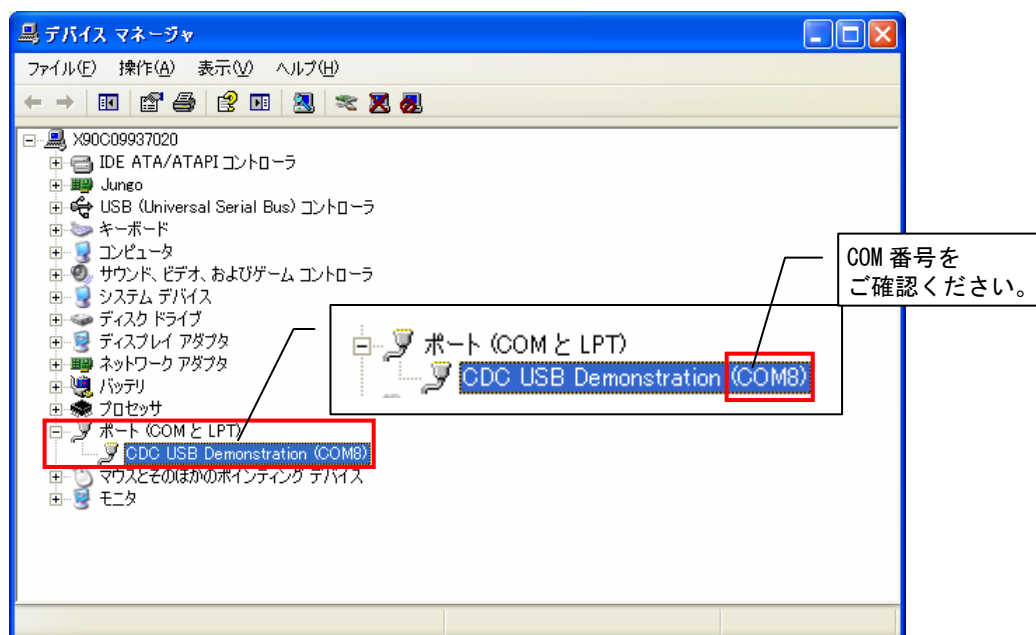


図 2. 1. 6-4 COM ポートの確認

第 3 章

第3章 使用方法

- 3. 1. ユーティリティ使用手順 3-2
- 3. 2. 無線ユニットとの通信確認 3-3
- 3. 3. ユーティリティでの設定作成 3-4
- 3. 4. 無線ユニットへの設定書き込み 3-5
- 3. 5. 設定ファイルの保存 3-7
- 3. 6. 保存ファイルの読み出し 3-8
- 3. 7. 無線ユニットからの設定読み出し 3-9
- 3. 8. パソコンから無線ユニットを取り外す 3-9

3.1. ユーティリティ使用手順

(1) 無線ユニットと接続

無線ユニットの USB コネクタに USB を挿入し、パソコンと接続します。
接続の際は必ず無線ユニットの電源が OFF の状態で接続し、接続後電源を ON してください。

※詳細は『2.1.1 項. パソコンと無線ユニットを接続する』をご参照ください。

(2) 無線ユニットとの通信確認

無線ユニットが正常に設定を書き込める状態が確認します。

※詳細は『3.3 項. 無線ユニットとの通信確認を行う』をご参照ください。

(3) 設定データ作成

設定ユーティリティにて、無線ユニットに設定する設定を作成します。

※詳細は『3.2 項. ユーティリティで設定を行う』をご参照ください。

(4) 設定データを書き込む

ユーティリティにて作成した設定を無線ユニットに書き込みます。

※詳細は『3.4 項. 無線ユニットに設定を書き込む』をご参照ください。

(5) 無線ユニットを取り外す

パソコンから無線ユニットを取り外します。

取り外しの際は必ず無線ユニットの電源が OFF になっていることをご確認ください。

※詳細は『3.9 項. 無線ユニットを取り外す』をご参照ください。

(6) 設置

無線ユニットをご使用する環境に設置します。

詳細はSWL90シリーズの『ユーザーズマニュアル（詳細編）』を参照ください。

※（当社ホームページ <http://www.melco.co.jp/business/> よりダウンロードして入手できます。）

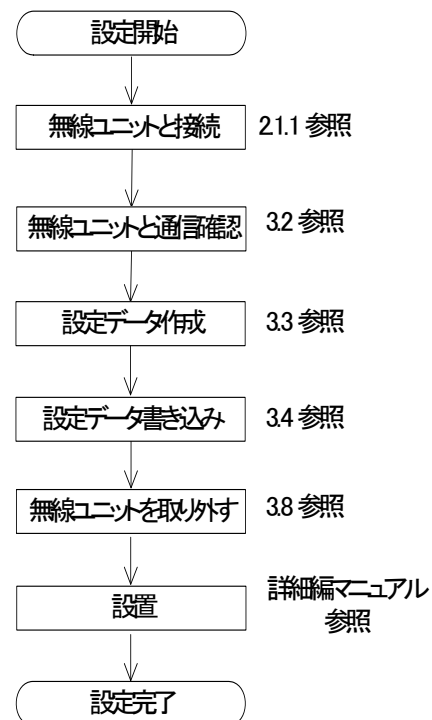


図 3.1 書き込みフロー

!!! 注意事項 !!!

パソコンに USB ポートが複数ある場合、無線ユニットを接続するポートを決めてご使用いただくことをお勧めいたします。無線ユニットを接続する USB ポートを変更致しますと、ドライバのインストールが再度必要になります。

3.2. 無線ユニットとの通信確認

無線ユニットとの接続確認を以下の手順で行います。

1. 通信対象(親局・子局)の書き込み選択にチェックを入れ、通信対象を選択します。
2. メイン画面の右上の「接続ポート」に無線ユニットが接続されている COM ポートを選択します。
3. 「TEST」ボタンをクリックして、通信確認を行います。

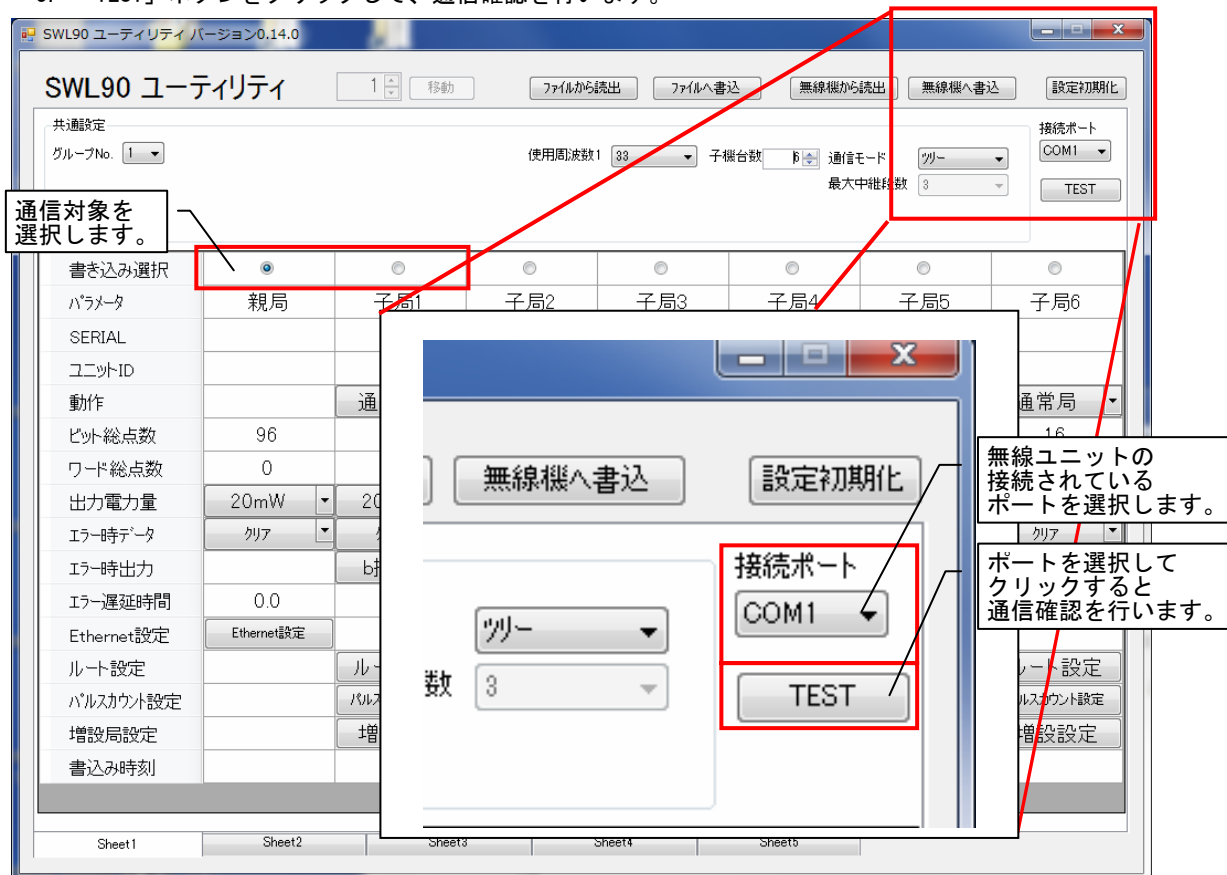


図 3.2-1 接続確認

正常に接続している場合、以下のようなダイアログが表示されます。



図 3.2-2 正常通信ダイアログ

接続が正常でない場合、以下のようなダイアログが表示されます。

COM ポート、接続対象をご確認ください。(COM ポートの確認については 2.1.6 項をご参照ください。)



図 3.2-3 以上通信ダイアログ

3.3. ユーティリティでの設定作成

無線ユニットに書き込む設定を作成します。

共通設定、親局設定、子局設定を全て行ってから「3.4 無線ユニットへの設定書き込み」を行ってください。

SWL90 ユーティリティ

共通設定

グループNo. 1 使用周波数 33 子機台数 6 通信モード グループ 最大中継段数 3

接続ポート COM1 TEST

設定初期化

親局設定項目

子局設定項目

書き込み選択	親局	子局1	子局2	子局3	子局4	子局5	子局6
パラメータ							
SERIAL							
ユニットID							
動作		通常局	通常局	通常局	通常局	通常局	通常局
ビット総点数	96	16	16	16	16	16	16
ワード総点数	0	0	0	0	0	0	0
出力電力量	20mW	20mW	20mW	20mW	20mW	20mW	20mW
エラー時データ	クリア	クリア	クリア	クリア	クリア	クリア	クリア
エラー時出力		b接点	b接点	b接点	b接点	b接点	b接点
エラー遅延時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Ethernet設定	Ethernet設定						
ルート設定		ルート設定	ルート設定	ルート設定	ルート設定	ルート設定	ルート設定
パルスカウント設定		パルスカウント設定	パルスカウント設定	パルスカウント設定	パルスカウント設定	パルスカウント設定	パルスカウント設定
増設局設定		増設設定	増設設定	増設設定	増設設定	増設設定	増設設定
書き込み時刻							

Sheet1 Sheet2 Sheet3 Sheet4 Sheet5

図 3.3 各設定項目

①共通設定

グループ No.、使用周波数、通信モード及び子局台数の設定など、親局・子局に共通する項目についての設定を行います。

②親局設定項目

Ethernet 設定や無線出力電力量など、親局の設定を行います。

③子局設定項目

ユニット ID や増設接続の有無、中継ルート設定など、接続する子局に関する設定を行います。

各設定の詳細に関しましては、「4 章 ユーティリティ画面詳細」をご参照ください。

3. 4. 無線ユニットへの設定書き込み

無線ユニットに登録する設定を行ったら、書き込み選択が書き込み対象になっていることを確認し、画面右上にある「無線機への書込」をクリックして無線ユニットへの設定データの書き込みを行います。

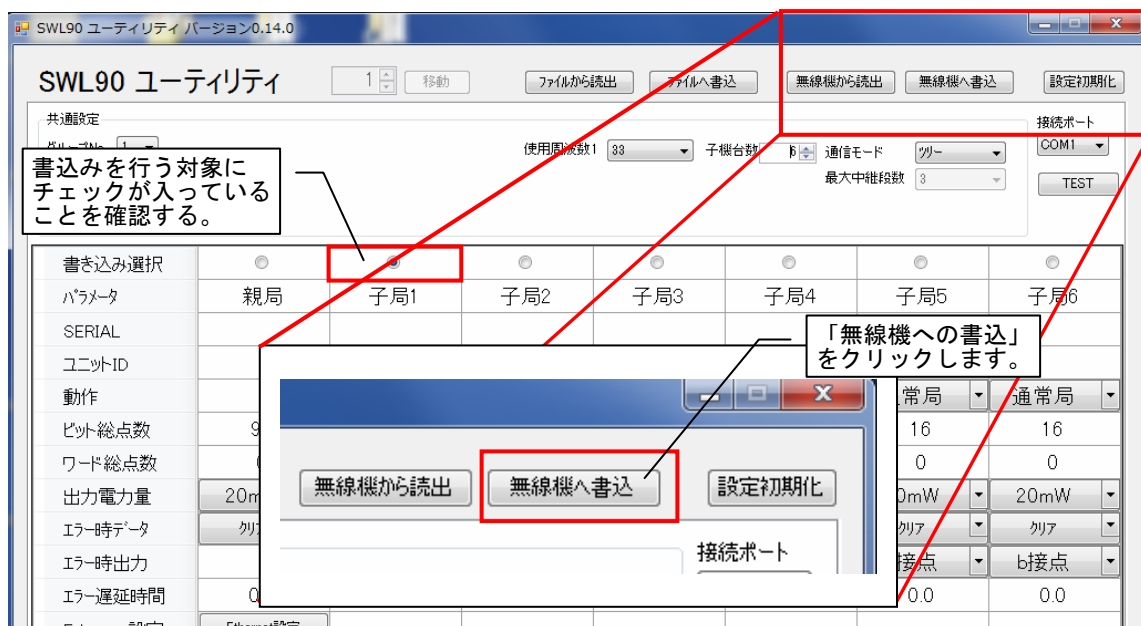


図 3. 4-1 無線ユニットへの書き込み

設定データが正しい場合、以下のようなダイアログが表示されます。

表示されている書き込み先を確認し、「OK」ボタンをクリックして設定の書き込みを行ってください。

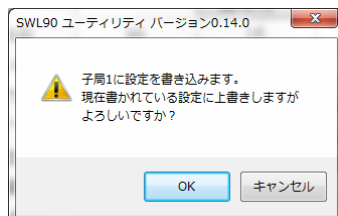


図 3. 4-2 書き込み確認ダイアログ

親局への書き込み時、ユニット ID が入力されていない子局がある場合、下記のようなダイアログが表示されます。

自動入力の場合、子局 n の n がユニット ID として自動で書き込まれるため、ユニット ID の重複など、問題がある場合は、ユニット ID (子局の初期値は SERIAL の上 3 桁) を入力してください。

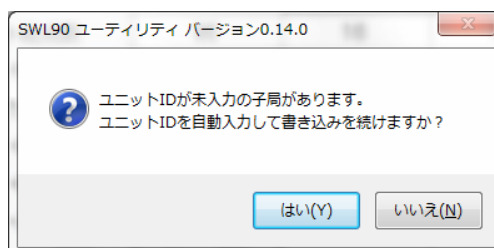


図 3. 4-3 ユニット ID 未登録確認ダイアログ

また、他のシートと使用周波数が近接している場合、以下のようなダイアログが表示されます。

複数使用しない、他のシートが周波数変更前など、問題ない場合「OK」ボタンをクリックし、設定の書き込みを行ってください。

問題ある場合は使用周波数の設定を見直してください。

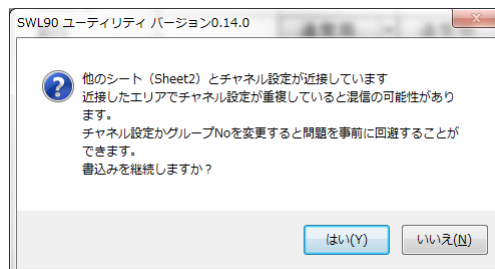


図 3.4-4 周波数近接確認ダイアログ

無線ユニットへの書き込み完了後、以下のダイアログが表示されます。

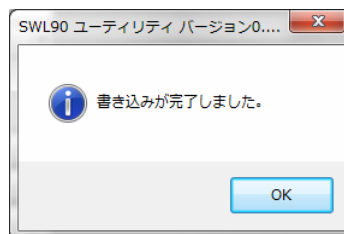


図 3.4-5 書き込み完了ダイアログ

!!! 注意事項 !!!

ダイアログが表示されるまで、以下のことは行わないでください。故障の原因となります。

- ・ 無線ユニットの電源を切る。
- ・ USB ケーブルを抜くなど、パソコンと無線ユニットの通信を切断する。

3.5. 設定ファイルの保存

無線ユニットに書き込んだ設定内容を「CSV ファイル」に保存します。

画面上部の「ファイルへ書込」ボタンをクリックします。

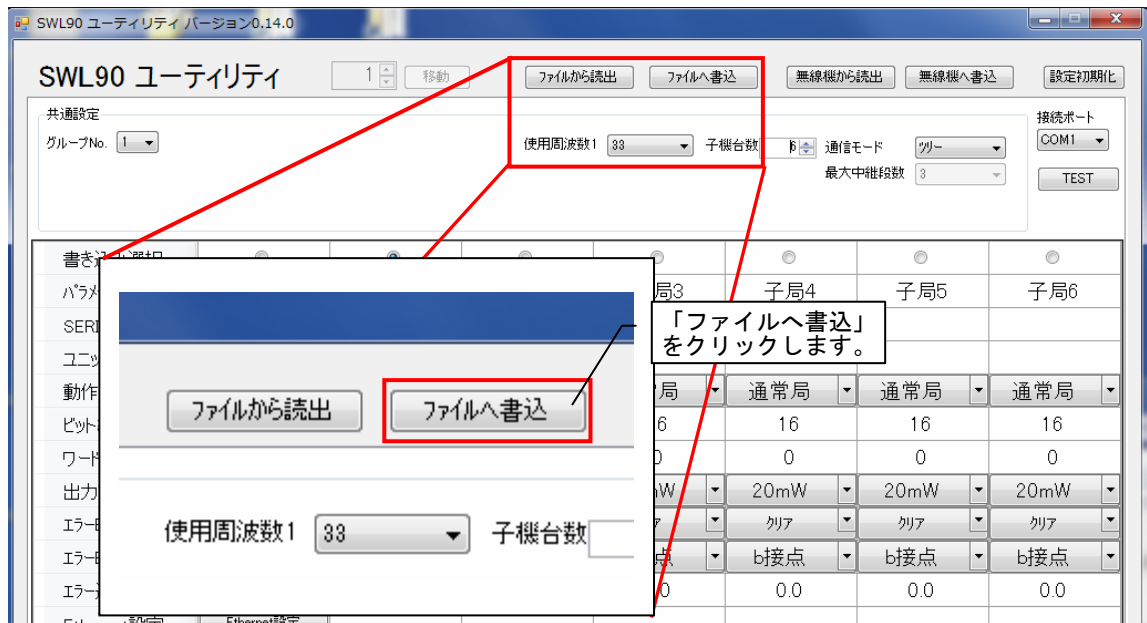


図 3.5-1 無線ユニットへの書き込み

「ファイルへ書込」ボタンをクリックすると、ファイル保存ダイアログが表示されますので、保存場所とファイル名を選択し、「保存」ボタンをクリックしてください。

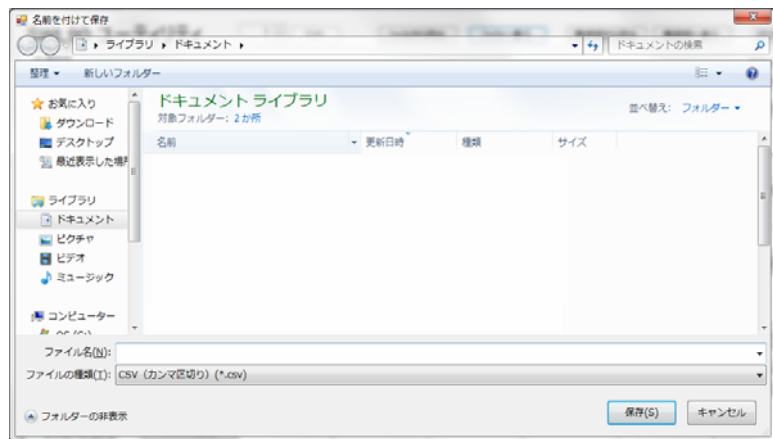


図 3.5-2 ファイル保存ダイアログ

※保存した CSV ファイルを編集すると、ユーティリティでの読み出しができなくなります。

設定を編集する場合は、必ず本ユーティリティソフトを使用して編集してください。

3.6. 保存した設定ファイルの読み出し

「CSV ファイル」で保存した設定を読み出します。

画面上部の「ファイルから読出」をクリックします。

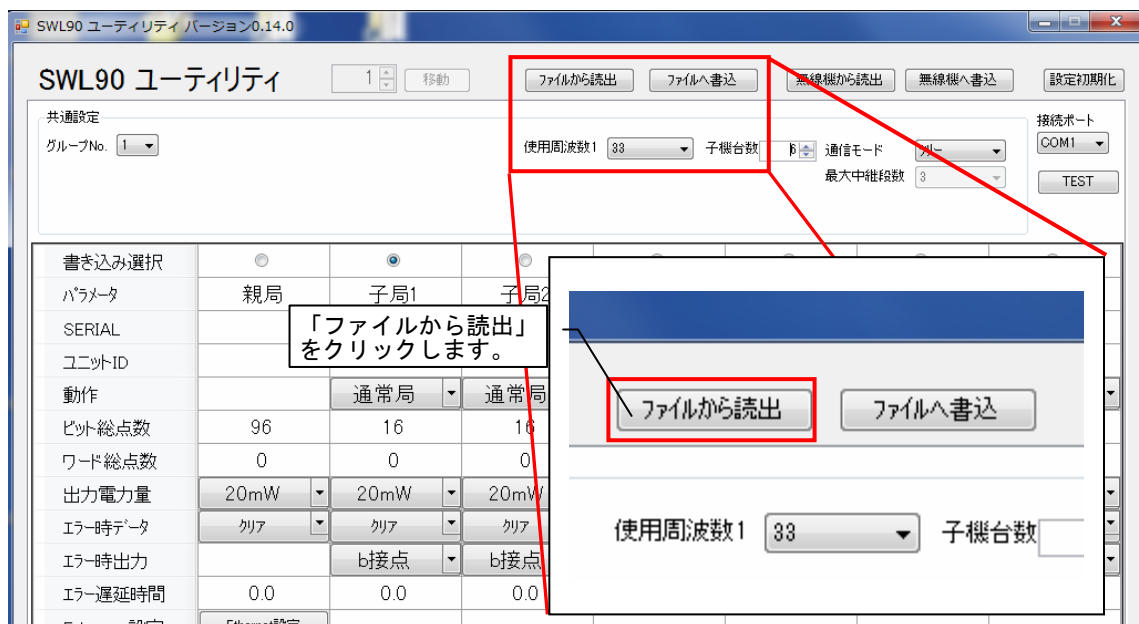


図 3.6-1 CSV ファイルからの読出

「ファイルから読出」ボタンをクリックすると、ファイル読出ダイアログが表示されますので、読出すファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。



図 3.6-2 ファイル読出ダイアログ

※本ユーティリティ以外で編集した CSV ファイルを読み出すと、以下のダイアログが表示され読み出しができなくなります。設定を編集する場合は、必ず本ユーティリティソフトを使用して編集してください。

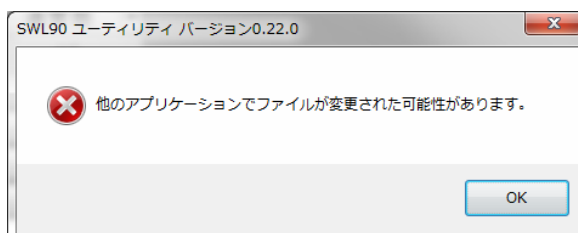
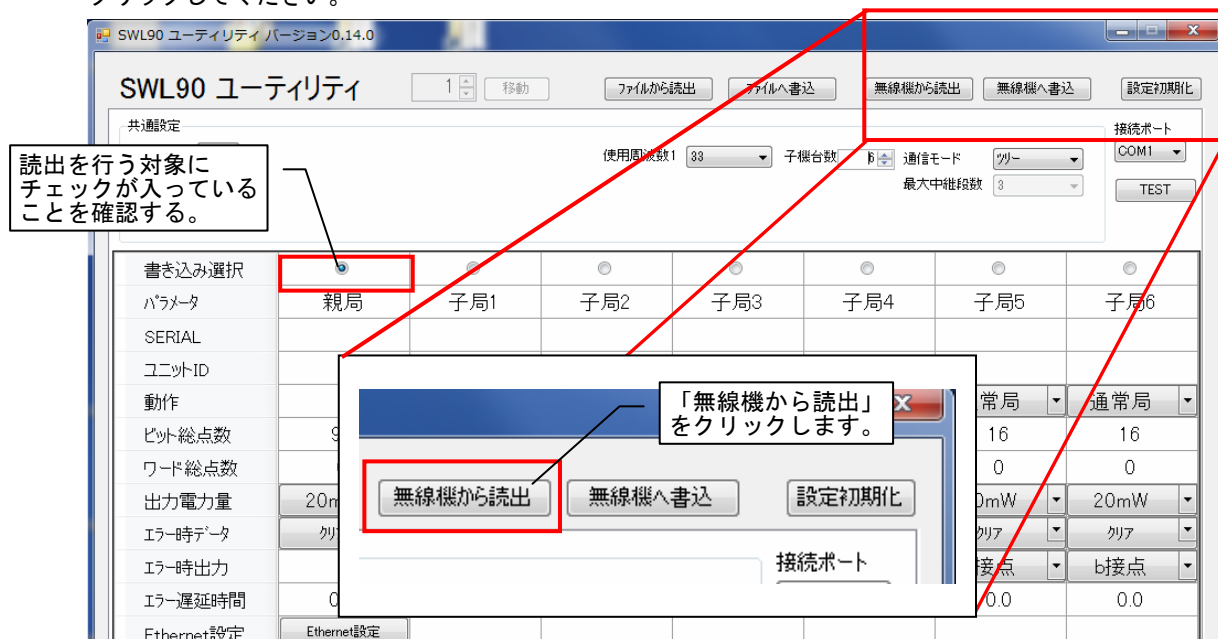


図 3.6-3 読み出しエラーダイアログ

3.7. 無線ユニットからの設定を読み出し

無線ユニットに設定されている設定内容をユーティリティ上に読み出します。

読み出しを行う対象の書き込み選択にチェックが入っていることを確認し、画面上部の「無線機から読出」をクリックしてください。



下記のようなファイル読み出し確認ダイアログが表示されますので、内容を確認の上問題ない場合は「OK」をクリックしてください。

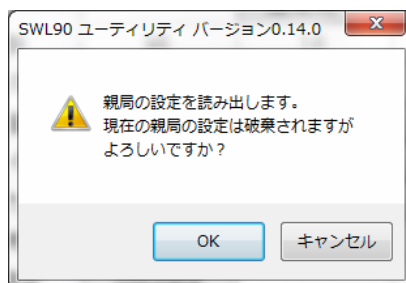


図 3.7-2 ファイル読み出し確認ダイアログ

!!! 注意事項 !!!

親局の設定を読み出しますと、以下の子局設定が上書きされますのでご注意ください。

- ・ ユニット ID
- ・ 動作設定
- ・ ルート設定

3.8. パソコンから無線ユニットを取り外す

無線ユニットをパソコンから取り外す際は、無線ユニットの電源を必ず切り、USB を抜いてください。

無線ユニットの電源を切らず USB を抜くと誤作動やデータ破損の原因となります。

第 4 章

第4章 画面詳細

4. 1. メイン画面	3-2
4. 2. Ethernet 設定画面	3-5
4. 3. ルート設定画面	3-7
4. 4. パルスカウント設定画	3-8
4. 5. 増設ユニット設定画面	3-9
4. 6. シート切り替え	3-11

4.1. メイン画面

メイン画面では、親局・子局共通の設定や自局に必要な設定を行います。

各設定画面移動ボタンで各機能の設定画面を呼び出します。

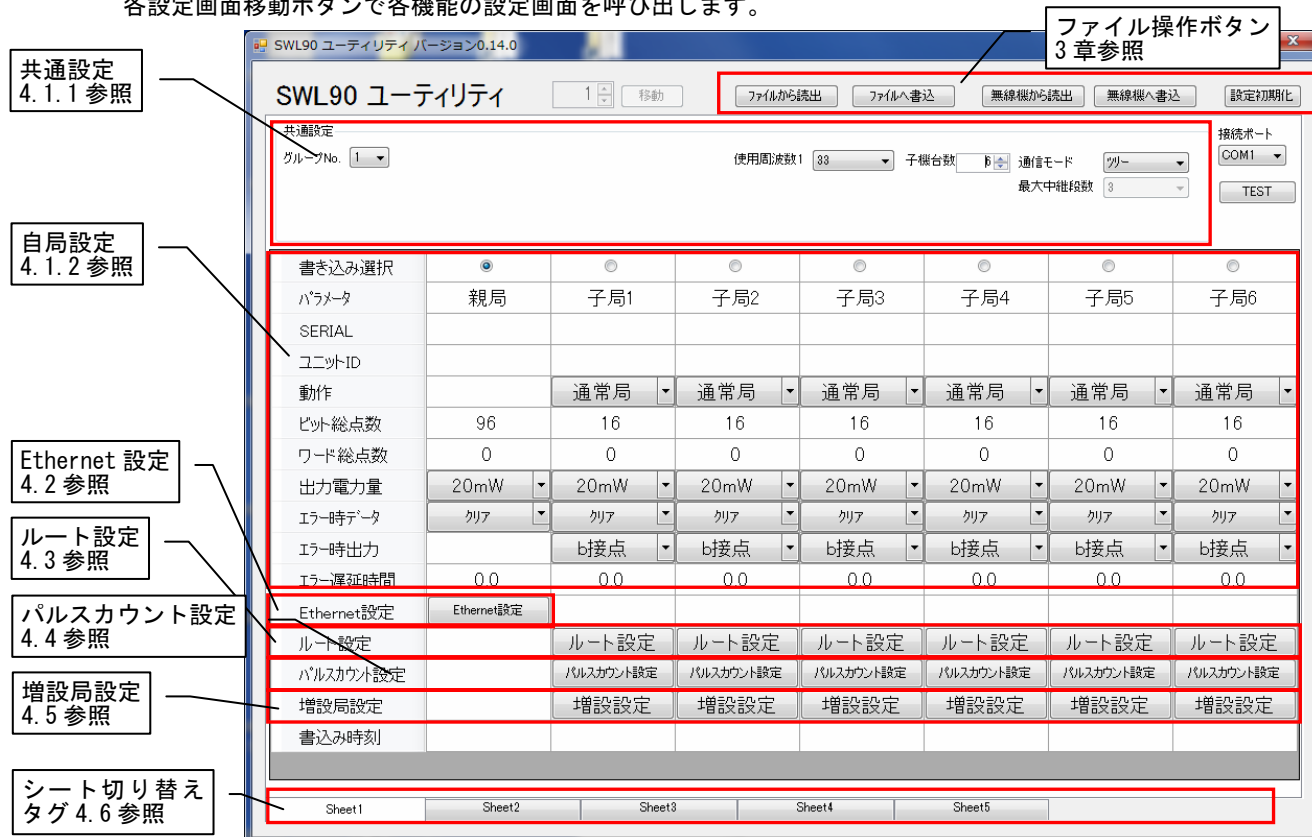


図 4.1 メイン画面

メイン画面には、下記の項目があります。

各項目の詳細に関しましては、各項目の参照項をご参照ください。

表 4.1 メイン画面項目

No.	名称	内容	参照項
1	ファイル操作ボタン	ファイルの保存や読み出し、無線ユニットへの書き込み、読み出しを行います。	3 章
2	共通設定	親局と子局が通信を行うために共通に設定する項目についての設定を行います。	4.1.1
3	自局設定	ユニット毎の動作についての設定を行います。	4.1.2
4	Ethernet 設定	Ethernet 通信に関しての設定を行います。 (親局のみ)	4.2
5	ルート設定	親局から子局に通信する際、中継を行うルートの設定を行います (子局・ツリーモード時のみ)	4.3
6	パルスカウント設定※	子局のパルスカウント機能についての設定を行います。 (子局のみ)	4.4
7	増設局設定※	子局に接続する増設ユニットについての設定を行います。 (子局のみ)	4.5

※各機能の詳細につきましては SWL90 シリーズの『ユーザーズマニュアル（詳細編）』を参照ください。

(当社ホームページ<http://www.melco.co.jp/business/> よりダウンロードして入手できます。)

4.1.1. 共通設定

共通設定では、無線通信に関して親局・子局が共通で設定する項目についての設定を行います。

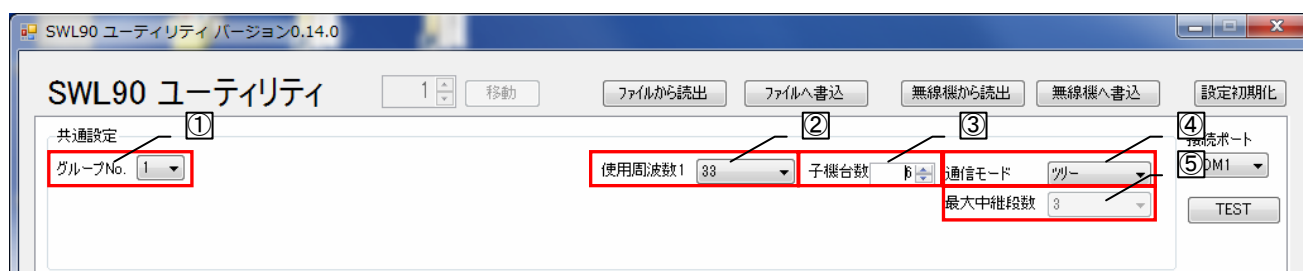


図 4.1.1 共通設定

表 4.1.1 共通設定項目

No.	名称	内容	設定範囲
①	グループ No.	無線通信で使用するグループ No. を設定します。 無線ユニットを複数系統使用する場合は、このグループ No は重複しないように設定してください。	0～15
②	選択周波数	無線通信で使用する周波数を選択します。	24～38
③	子局台数	親局と通信を行う子局の数(中継専用局含む)の台数を設定します。 子局台数により、シートに表示されるの子局台数が変化します。	1～64
④	無線通信構成	設定中のグループの使用する通信構成の設定を行います。※1	ツリー/メッシュ
⑤	メッシュモード 最大ホップ数	通信モードがメッシュモードのときに最大何台まで中継を許可するかの設定を行います。 (通信モードがメッシュの時のみ有効)	1～5

※1：各無線通信構成の説明は、SWL90シリーズの『ユーザーズマニュアル（詳細編）』を参照ください。

(当社ホームページ <http://www.melsc.co.jp/business/> よりダウンロードして入手できます。)

4.1.2. 自局設定

自局設定では、ユニット ID や出力電力量など、そのユニット毎の設定を行います。

①	書き込み選択	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②	パラメータ	親局	子局1	子局2	子局3	子局4	子局5
③	SERIAL						
④	ユニットID						
⑤	動作	通常局	通常局	通常局	通常局	通常局	通常局
⑥	ビット総点数	96	16	16	16	16	16
⑦	ワード総点数	0	0	0	0	0	0
⑧	出力電力量	20mW	20mW	20mW	20mW	20mW	20mW
⑨	エラー時データ	クリア	クリア	クリア	クリア	クリア	クリア
⑩	エラー時出力	b接点	b接点	b接点	b接点	b接点	b接点
	エラー遅延時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図 4.1.2 自局設定

表 4.1.2 自局設定 設定項目

No.	名称	内容	設定範囲
①	書き込み選択	「無線機から読出」・「無線機へ書込」ボタンにて、読み込み/書き込みを行うユニットの選択を行います。	-
②	SERIAL	ユニット上部の銘板に記載してある SERIAL 番号を入力します。SERIAL 番号を入力することにより、SERIAL の上位3桁がユニット ID に自動入力されます。	00000000~99999999
③	ユニット ID	親局に子局を登録する際のユニット ID を設定します。	1~254
④	子局動作	子局の動作についての設定を行います。 通常の使用局は通常局、中継専用局は中継局、将来追加予定の場合は予約局と設定します。	通常局/中継局/予約局
⑤	ビット総点数	親局：全子局のビット点数の総計を表示します。 子局：自局が使用しているビット総点数を表示します。	設定不可(自動計算)
⑥	ワード総点数	親局：全子局のワード点数の総計を表示します。 子局：自局が使用しているワード総点数を表示します。	
⑦	無線出力電力	無線通信を行う送信出力の設定を行います。	1mW/10mW/20mW
⑧	エラー時のデータ	エラー発生時の出力データについての設定を行います。 ※以下の設定に関しては親局のみの設定となります。 ビットクリア・ワードホールド ビットホールド・ワードクリア	クリア/ホールド/ ビットクリア・ ワードホールド※/ ビットホールド・ ワードクリア※
⑨	エラー端子の出力	エラー発生時のエラー端子の出力信号の設定を行います。	LIVE 信号/a 接点/ b 接点
⑩	無線タイムアウト時間	無線通信でのエラー発生タイムアウト時間の設定を行います。 0.0 の場合は自動計算となります。	0.0~ 600.0(秒)

4. 2. Ethernet設定画面

Ethernet 設定画面では、Ethernet 通信に関する設定を行います。

自局設定画面では、自局の Ethernet 通信に関する設定を、相手局設定画面では通信相手の Ethernet に関しての設定を行います。

4. 2. 1. 自局設定画面

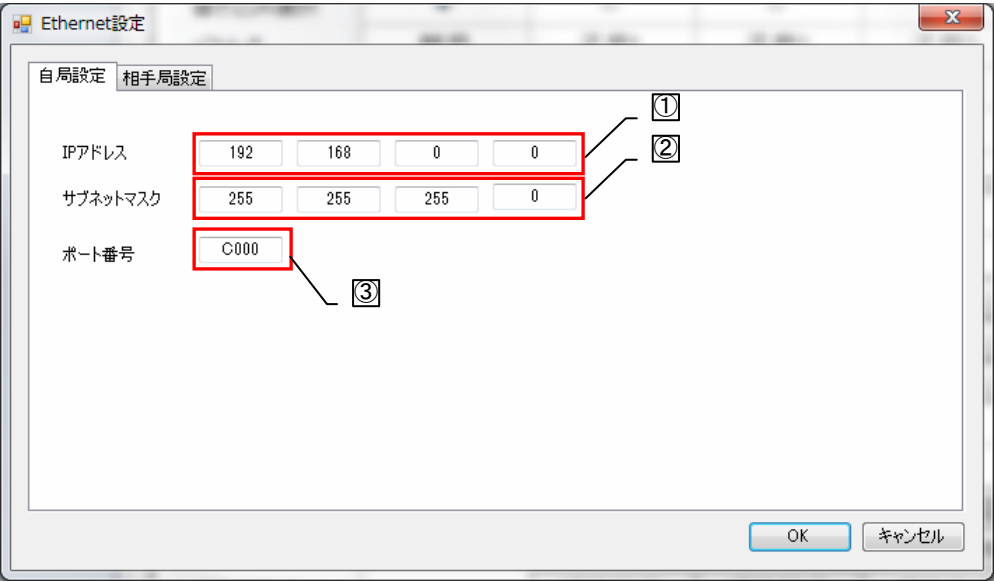


図 4. 2. 1 Ethernet 自局設定画面

表 4. 2. 1 Ethernet 自局設定画面設定項目

No.	名称	内容	設定範囲
①	IP アドレス	ユニットの IP アドレスを登録します。	0. 0. 0. 0～ 255. 255. 255. 254
②	サブネットマスク	ユニットの IP に対するサブネットマスクを設定します。	128. 0. 0. 0～ 255. 255. 255. 254
③	ポート番号	ユニットが相手 Ethernet 機器と通信する為の自局ポートを設定します。	0000～FFFF

4. 2. 2. Ethernet相手局設定画面

The screenshot shows the 'Ethernet相手局設定' window. It includes fields for IP address (192.168.0.0), port number (C000), and a 'シーケンサリンク設定' (Sequencer Link Setting) section with fields for network number (00), PC number (FF), required I/O station number (3FF), required master unit station number (00), CPU monitoring time (16), and Ethernet timeout time (100). There is also a '通信デバイス設定' (Communication Device Setting) section with fields for device type (X), device number (1000), bit input/output (Y), word input/output (D), and word input/output start numbers (300, 500). Red boxes and numbers 1 through 16 are used to highlight specific fields: 1 (IP address), 2 (port number), 3 (network number), 4 (PC number), 5 (required I/O station number), 6 (required master unit station number), 7 (CPU monitoring time), 8 (Ethernet timeout time), 9 (device type), 10 (device number), 11 (bit input/output), 12 (word input/output), 13 (word input/output start number), 14 (word input/output start number), 15 (word input/output start number), and 16 (word input/output start number).

図 4. 2. 2 Ethernet 相手局設定画面

表 4. 2. 2 Ethernet 相手局設定画面設定項目

No.	名称	内容	設定範囲
①	IP アドレス	相手 Ethernet 機器の IP アドレスを登録します。	0.0.0.0～255.255.255.254
②	ポート番号	相手 Ethernet 機器と通信する為の相手局側のポートを設定します。	0000～FFFF
③	ネットワーク番号	シーケンサアクセス時に最後に経由するネットワークシステムの番号を設定します。	00H～FEH
④	PC 番号	システム上でのアクセス局の PC 番号を、ネットワークユニットなどの設定番号で設定します。 (PC 番号 : FF はネットワーク番号が 00H のときのみ有効)	00H～FFH
⑤	要求先 I/O 局番	使用するシーケンサに合わせて設定を行います。 アクセス局のシーケンサ CPU が以下の場合は、使用する CPU のマニュアルをご参照ください。 ・マルチ CPU システムのシーケンサ SOU ・Q シリーズ C24 などによるマルチロブ接続上のシーケンサ CPU ・二重化システムの CPU 上記以外の場合は初期値を設定します。(固定)	0000H～FFFFH
⑥	要求先ユニット局番		00H～FFH
⑦	CPU 監視タイマ	Ethernet ユニットが自局の CPU を監視する監視時間を設定する。	1～9999
⑧	Ethernet タイムアウト時間	Ethernet 機器との送信から受信までの通信タイムアウト時間を設定します。	100～9999
⑨	ビット入力デバイス種別	MC プロトコル経由で Ethernet 相手機器に書き込みを行うデバイスについての設定を行います。	X
⑩	ビット入力開始番号	デバイス種別でデバイスを、デバイス No. で書き込むデバイスの開始番号を設定します。	0～1FFF
⑪	ビット出力デバイス種別	無線ユニットでの使用範囲が他のシステムなどで使用しているデバイスと重複しないように設定してください。	Y
⑫	ビット出力開始番号		0～1FFF
⑬	ワード入力デバイス種別	無線ユニットでの使用範囲： 開始番号の設定値+ビット/ワード総点数	D
⑭	ワード入力開始番号		0～8000
⑮	ワード出力デバイス種別		D
⑯	ワード出力開始番号		0～8000

4.3. ルート設定画面

ルート設定画面では、動作モードがツリーの場合、子局へ送信される中継ルートを設定を行います。

子局ルート設定

中継段数 2

中継1 中継2 中継3 中継4 中継5

子局番号 1 3

OK キャンセル

図 4.3 ルート設定画面

表 4.3 ルート設定画面設定項目

No.	名称	内容	設定範囲
①	中継段数	親局が子局と通信を行うまでの中継局を経由する段数の設定を行います。	0～5
②	子局番号	中継を行う子局番号の設定を行います (※設定する内容はユニット ID ではなく、子局番号です。)	1～64 (自局番号は 入力不可)

4. 4. パルスカウント設定画面

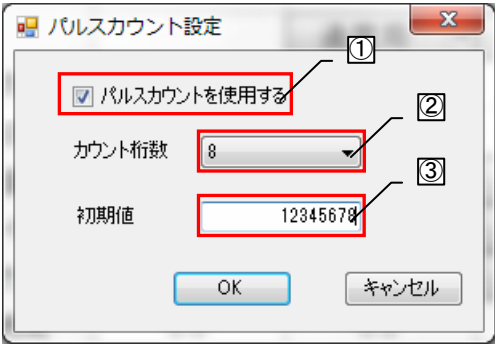


図 4. 4 パルスカウント設定画面

表 4. 4 Ethernet 自局設定画面設定項目

No.	名称	内容	設定範囲
①	パルスカウント有効設定	パルスカウント機能有効/無効設定を行います。	ON/OFF
②	パルスカウント桁数設定	パルスカウントで使用する桁数の設定を行います。	1～8
③	初期値	パルスカウントの現在地としてカウントを開始するデータを設定します。	0～99999999 (カウント桁数による。)

4.5. 増設ユニット設定画面

増設ユニット設定画面では、子局に接続する増設ユニットに関する設定を行います。

4.5.1. 増設設定画面

図 4.5.1 増設設定画面

表 4.5.1 増設設定画面設定項目

No.	名称	内容	設定範囲
①	増設局台数	子局に接続する増設の台数(予約局含む)を設定します。 増設局台数として設定した台数の増設設定が表示され、 設定可能となります。	0～8
②	ユニット種別	接続する増設ユニット種別の設定を行います。	DIO 16 点ユニット/ AD 4 点ユニット
③	予約設定	設定した増設ユニットの使用局/予約局の設定を行います。	使用局/予約局
④	エラー時のデータ	エラー発生時の出力データのクリア/ホールドについての設 定を行う	クリア/ホールド/ 子局に合わせる

4.5.2. アナログ Ch 設定画面

アナログ Ch 設定画面では、アナログ増設ユニットの各アナログチャンネルの設定を行います。

	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4
▶ Ch使用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
データレンジ	0-10V	0-10V	0-10V	0-10V
平均方法	サンプリング	サンプリング	サンプリング	サンプリング
平均回数	0	0	0	0

OK キャンセル

図 4.5.2 アナログ Ch 設定画面

表 4.5.2 アナログ Ch 設定 設定項目

No.	名称	内容	設定範囲
①	アナログ Ch 変換許可	該当するアナログ Ch を使用するか設定します。	ON/OFF
②	入力レンジ	使用するデータのレンジを設定します。	0-10V/0-5V/1-5V/ 0-20mA/4-20mA/ ユーザーレンジ 1/ ユーザーレンジ 2
③	平均方法	データの表示について行う平均処理について設定します。	サンプリング/ 回数平均/時間平均/ 移動平均
④	平均回数	平均方法にて、平均を行う回数を設定します。 サンプリングは平均処理を行わないため、平均回数は無効となります。	0~255

4.6. シート切り替えタグ

本ユーティリティでは、最大5グループ※を1つのフォルダで管理可能です。

シート切り替えタグにて別グループの設定への切り替えを行い、切り替えたシートに別グループの設定を行ってください。

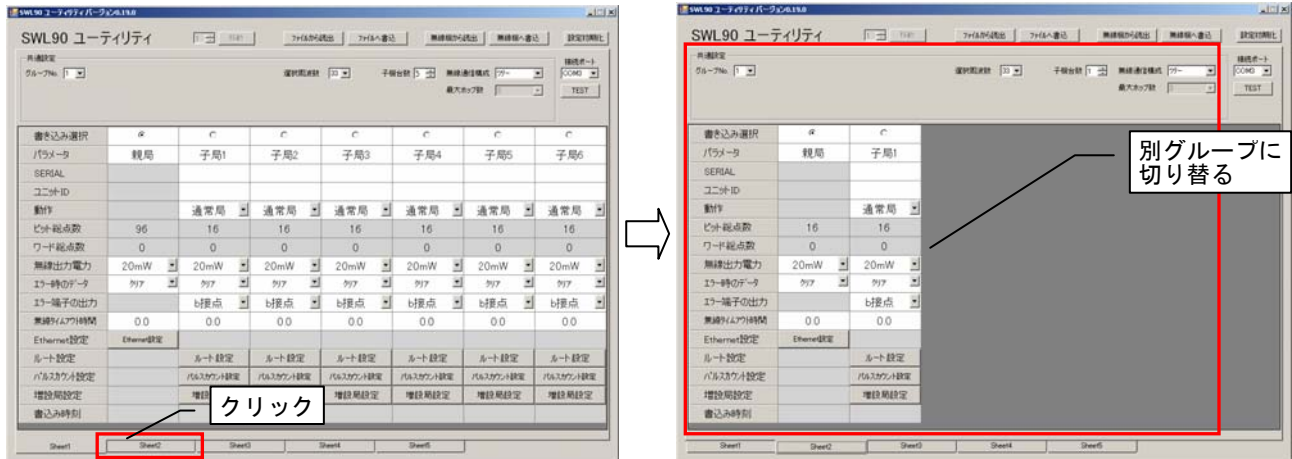


図 4.6-1 シート切り替えタグ

また、シートタグをダブルクリックすることにより、名前の変更も可能です。

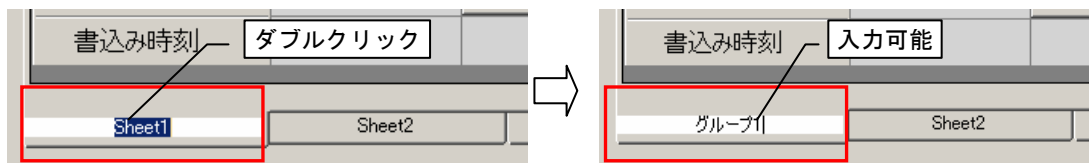


図 4.6-2 シート名変更

※：親局 1 台とその親局に接続する子局 (同一グループ No. で接続される) が 1 グループとなります。

製品仕様の変更

カタログ、仕様書、技術資料などに記載されている仕様は、お断りなしに変更することがあります。

製品の適用について

■使用条件

当社製品をご使用される場合は、万一、故障、不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途であること、バックアップなどの対策が実施されていることをご使用の条件とさせていただきます。

■適用の除外など

- (1) 当社製品は、一般工業などへの用途を対象として設計・製造されています。原子力発電所およびその他発電所、鉄道や航空などの公共交通機関といった公共への影響が大きい用途や車両設備医用機械、娯楽機械、安全装置、焼却設備、および行政機関や個別業界の規制に従う設備への使用で、特別品質保証体制をご要求になる用途には、適用を除外させていただきます。
- (2) 人命や財産に大きな影響が予測され、安全面や制御システムにとくに高信頼性が要求される用途には適用を除外させていただきます。
- (3) ただし、上記の用途であっても、用途を限定して特別な品質をご要求にならないことをお客様にご承認いただいた場合には、適用可能とさせていただきます。

その他

上記の記載内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

Ethernet は米国 Xerox Corporation の商標です。
MC プロトコルは MELSEC コミュニケーションプロトコルの略称です。
MELSEC は三菱電機株式会社の登録商標です。
.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。



〒154-8520 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 (キャロットタワー20F)

お問い合わせは下記へどうぞ

北日本支社	〒983-0005	仙台市宮城野区福室字明神西 31	(022) 353-7814
北海道支店	〒004-0041	札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	(011) 890-7515
東京機電支社	〒108-0022	東京都港区海岸 3-19-22	(03) 3454-5511
中部支社	〒461-8675	名古屋市東区矢田南 5-1-14	(052) 722-7602
北陸支店	〒920-0811	金沢市小坂町北 255	(076) 252-9519
関西機電支社	〒531-0076	大阪市北区大淀中 1-4-13	(06) 6454-0281
中四国支社	〒732-0802	広島市南区大州 4-3-26	(082) 285-2111
四国支店	〒760-0072	高松市花園町 1-9-38	(087) 831-3186
九州支社	〒812-0007	福岡市博多区東比恵 3-12-16 (東比恵スクエアビル)	(092) 483-8208

この印刷物は、2013 年 8 月の発行です。なお、お断りなしに内容を変更することがありますのでご了承ください。

X903130803

2013 年 8 月作成

付録

付録 設定サンプル詳細

付録 1. サンプルファイル 1

1 : 1 通信/増設ありの場合 付録-2

付録 2 サンプルファイル 2

1 : 4 通信/ツリー方式使用の場合 付録-5

付録 3. サンプルファイル 3

1 : 3 通信/メッシュ方式使用の場合 付録-9

【子局の設定】

子局の SERIAL (又はユニット ID) を入力してください。

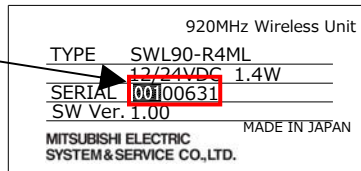
図付録 1-3 子局設定

表付録 1-2 子局設定設定値

パラメータ内容	設定値	参照
SERIAL	下記①参照	①
ユニット ID	113 (下記①参照)	①

- ① 子局 1 の SERIAL または、ユニット ID を入力してください。
 ユニット ID が空白の状態では SERIAL を入力すると、SERIAL の上位 3 桁がユニット ID として入力されます。
 (SERIAL は定格銘板又は子局 P102 をご参照ください。)

子局の定格銘板の、
 「SERIAL」を入力すると
 自動でユニット ID も
 入力されます。



図付録 1-4 SERIAL 確認方法

【子局に増設ユニットを登録】

子局 1 の増設設定画面にて、以下のように設定してください。

図付録 1-5 増設ユニット設定例

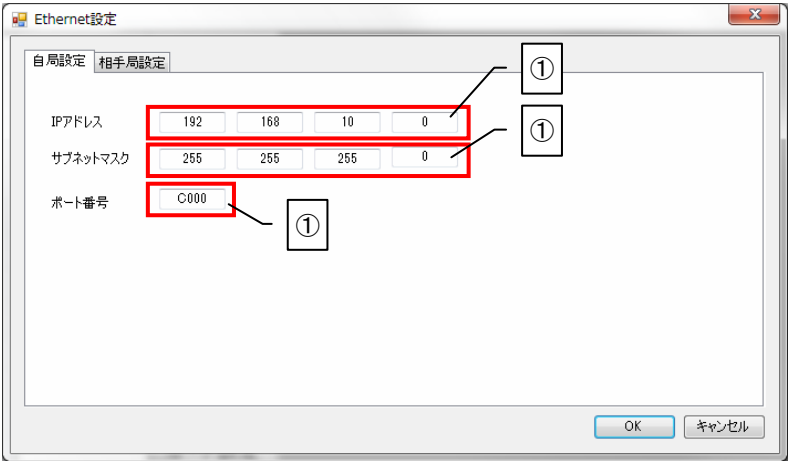
表付録 1-3 増設ユニット設定値

パラメータ内容	設定値	参照
増設局台数	1	①
ユニット種別	DIO 16点ユニット	②
予約設定	使用局	②
エラー時データ	クリア	②

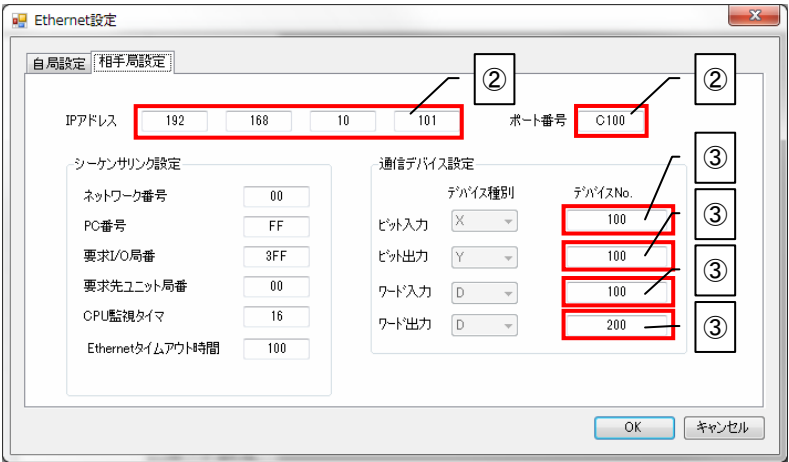
- ① 増設局台数を「1」に変更してください。
 ※接続台数を変更する場合、増設局台数の値を変更して設定してください。
- ② 増設局 1 に関しての設定を行ってください。
 ※増設ユニットを更に追加する場合、増設局台数の値を変更し、該当する増設の設定を行ってください。
 例) 2 台目として増設ユニット 局番 2 を追加する場合→【増設 2】を設定
 ～
 8 台目として増設ユニット局番 8 を追加する場合→【増設 8】を設定

また、増設ユニットの局番スイッチ(ロータリスイッチ)を各局番に合せて設定してください。

【Ethernet 設定】
Ethernet 設定を行います。



図付録 1-6 Ethernet 自局設定



図付録 1-7 Ethernet 相手局設定

表付録 1-4 Ethernet 設定設定値

パラメータ内容	設定値	参照
自局 IP アドレス	192.168.10.0	①
自局ポート番号	C100	①
サブネットマスク	255.255.255.0	①
相手局 IP アドレス	192.168.10.101	②
相手局ポート番号	C000	②
ビット入力開始番号	100	③
ビット出力開始番号	100	③
ワード入力開始番号	100	③
ワード出力開始番号	200	③

- ①自局ユニットの IP アドレス・サブネットマスク・ポート番号を設定します。
- ②相手局の IP アドレスとポート番号を設定します。
- ③入出力を行うビット・ワードデバイスの開始アドレスを設定します。
(この開始アドレスより前詰めでデータを格納いたします。)

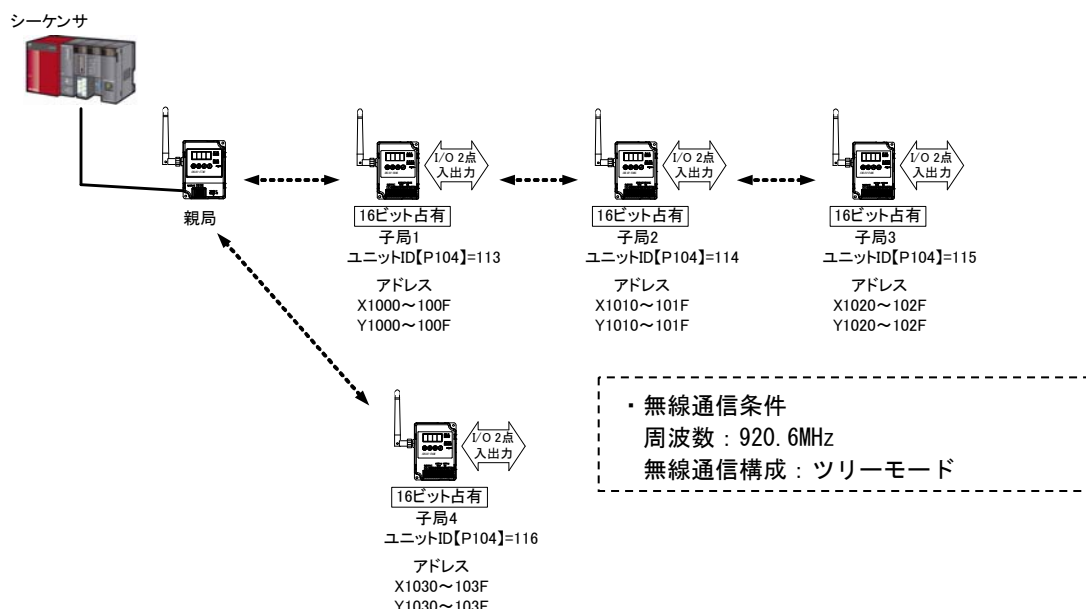
※Ethernet 設定は構築環境に合わせた設定を行ってください。
特に IP アドレス、サブネットマスク、ポート番号は相手局と一致していないと通信できません。
ネットワーク上で接続する場合は設定内容をネットワーク管理者にご相談ください。
無線ユニットとシーケンサを直接接続する場合は上記サンプル設定値で通信可能です。
上記サンプル設定値をシーケンサの Ethernet 設定にも設定してください。

付録 2 サンプルファイル 2 (1:N通信・ツリーモード)

付録 2 1:N通信／ツリーモードで使用する場合

Sample2 は以下のシステム例のように親局・子局が 1:1 で子局に増設ユニットを接続した場合のサンプルです。

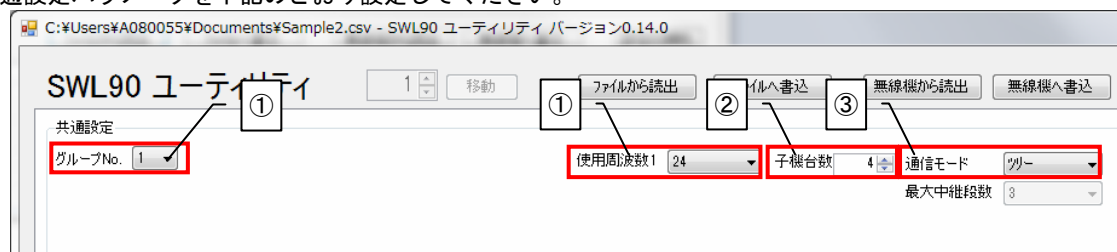
(システム例付録 2-1)



図付録 2-1 1:N(ツリー)システム構成

【共通設定】

共通設定パラメータを下記のとおり設定してください。



図付録 2-2 共通設定

表付録 2-1 共通設定 設定値

パラメータ内容	設定値	参照
グループ No.	1	①
選択周波数	24	①
子機台数	4	②
無線通信構成	ツリー	③

- ① グループ No. と使用周波数を、同一エリア内のシステム毎で設定してください。

【同一エリアで複数システムを使用する場合】

グループ No. と周波数設定が重複しないようにしてください。

電波干渉し通信が不安定になることがあります。

- ② 親局と通信する子局の台数を設定してください。
- ③ 「ツリー」を設定してください
(中継ルートを指定する場合はツリーモードをご使用ください。)

【子局の設定】

子局の SERIAL (又はユニット ID) を入力してください。

書き込み選択	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パラメータ	親局	子局1	子局2	子局3	子局4
SERIAL					
ユニットID	0	113	114	115	116
▶ 動作		通常局 ▼	通常局 ▼	通常局 ▼	通常局 ▼
ビット総点数	64	16	16	16	16
ワード総点数	0	0	0	0	0

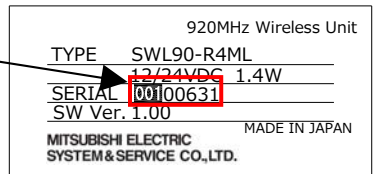
図付録 2-3 子局設定

表付録 2-2 子局設定 設定値

パラメータ内容	設定値	参照
子局 1 SERIAL	下記①参照	①
子局 1 ユニット ID	113(下記①参照)	①
子局 2 SERIAL	下記①参照	①
子局 2 ユニット ID	114(下記①参照)	①
子局 3 SERIAL	下記①参照	①
子局 3 ユニット ID	115(下記①参照)	①
子局 4 SERIAL	下記①参照	①
子局 4 ユニット ID	116(下記①参照)	①

- ① 子局 1 の SERIAL または、ユニット ID を入力してください。
ユニット ID が空白の状態 で SERIAL を入力すると、SERIAL の上位 3 桁がユニット ID として入力されます。
(SERIAL は定格銘板又は子局 P102 をご参照ください。)

子局の定格銘板の、
「SERIAL」を入力すると自動でユニット ID も入力されます。



図付録 2-4 SERIAL 確認方法

【子局の中継設定】

子局 2、子局 3 の「ルート設定画面」に以下のように中継経路を設定します。

子局 2 ルート設定

図付録 2-5 中継設定 1

表付録 2-3 中継設定 設定値 1

パラメータ内容	設定値	参照
中継段数	1	①
中継 1 子局番号	1	②

子局 3 ルート設定

図付録 2-6 中継設定 2

表付録 2-4 中継設定 設定値 2

パラメータ内容	設定値	参照
中継段数	2	①
中継 1 子局番号	1	②
中継 2 子局番号	2	②

①中継を行う中継段数を設定します。

中継段数に設定した中継数、中継子局番号の設定が可能となります。

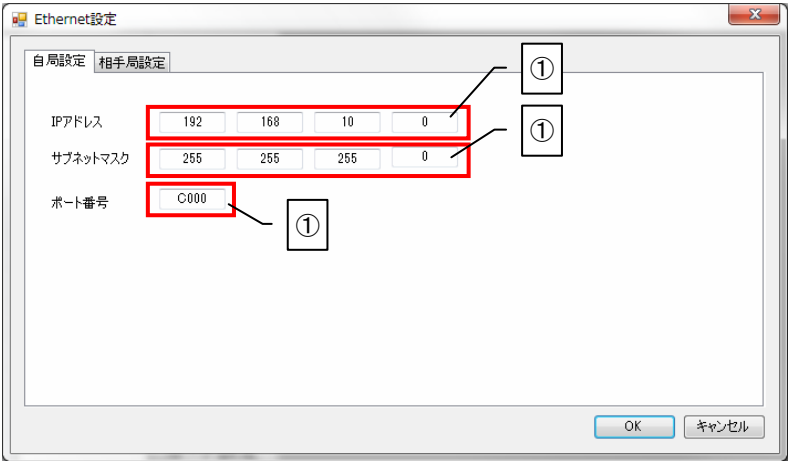
②中継する子局番号を設定します。

親局 ⇒ 中継 1 ⇒ 中継 2 ⇒ 中継 3 ⇒ 中継 4 ⇒ 中継 5 ⇒ 子局という経路となります。

必要な段数分中継を設定してください。

※中継に設定する子局番号はメイン画面に表示されるパラメータ欄の子局○の○の数値です。
ユニット ID とは異なりますのでご注意ください。

【Ethernet 設定】
Ethernet 設定を行います。



図付録 2-7 Ethernet 自局設定



図付録 2-8 Ethernet 相手局設定

表付録 2-5 Ethernet 設定設定値

パラメータ内容	設定値	参照
自局 IP アドレス	192.168.10.0	①
自局ポート番号	C100	①
サブネットマスク	255.255.255.0	①
相手局 IP アドレス	192.168.10.101	②
相手局ポート番号	C000	②
ビット入力開始番号	100	③
ビット出力開始番号	100	③
ワード入力開始番号	100	③
ワード出力開始番号	200	③

- ①自局ユニットの IP アドレス・サブネットマスク・ポート番号を設定します。
- ②相手局の IP アドレスとポート番号を設定します。
- ③入出力を行うビット・ワードデバイスの開始アドレスを設定します。
(この開始アドレスより前詰めでデータを格納いたします。)

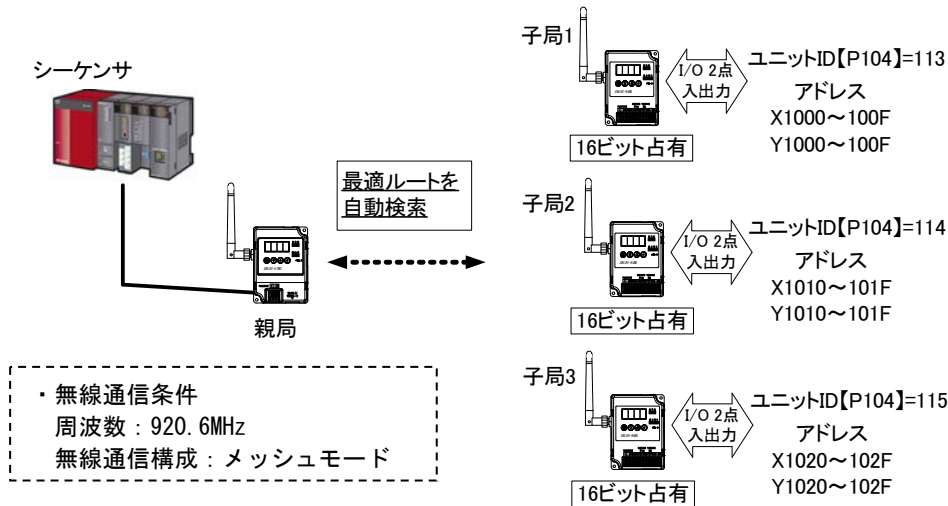
※Ethernet 設定は構築環境に合わせた設定を行ってください。
特に IP アドレス、サブネットマスク、ポート番号は相手局と一致していないと通信できません。
ネットワーク上で接続する場合は設定内容をネットワーク管理者にご相談ください。
無線ユニットとシーケンサを直接接続する場合は上記サンプル設定値で通信可能です。
上記サンプル設定値をシーケンサの Ethernet 設定にも設定してください。

付録 3 サンプルファイル 3(1:M通信・メッシュモード)

付録 3 1:N通信の場合／メッシュモードで使用する場合

Sample1 は以下のシステム例のように親局・子局が1:1で子局に増設ユニットを接続した場合のサンプルです。

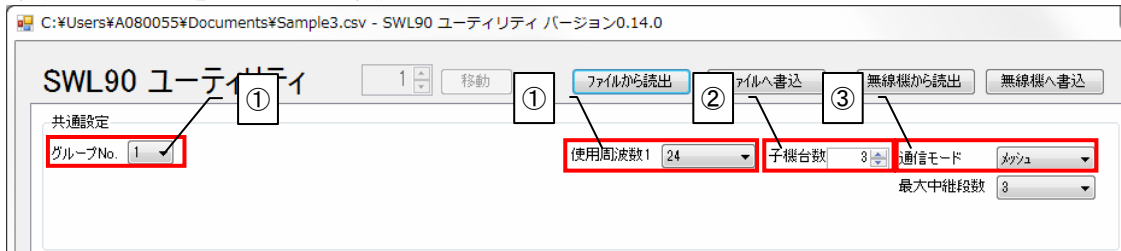
(システム例 3-1)



図付録 3-1 システム構成例

【共通設定】

共通設定パラメータを下記のとおり設定してください。



図付録 3-2 共通設定

表付録 3-1 共通設定 設定値

パラメータ内容	設定値	参照
グループ No.	1	①
選択周波数	24	①
子機台数	3	②
無線通信構成	メッシュ	③

- ① グループ No. と使用周波数を、同一エリア内のシステム毎で設定してください。
【同一エリアで複数システムを使用する場合】
グループ No. と周波数設定が重複しないようにしてください。
電波干渉し通信が不安定になることがあります。
- ② 親局と通信する子局の台数を設定してください。
- ③ 「メッシュ」を設定してください
(中継ルートを指定せず、自動ルート構築を行う場合はメッシュモードをご使用ください。)

【子局の設定】

子局の SERIAL (又はユニット ID) を入力してください。

書き込み選択	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パラメータ	親局	子局1	子局2	子局3
SERIAL				
ユニットID	0	113	114	115
▶ 動作		通常局	通常局	通常局
ビット総点数	48	16	16	16
ワード総点数	0	0	0	0

図付録 3-3 子局設定

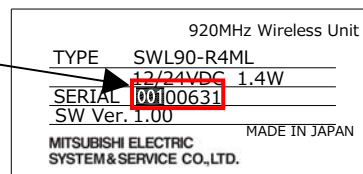
表付録 3-2 子局設定設定値

パラメータ内容	設定値	参照
子局 1 SERIAL	下記①参照	①
子局 1 ユニット ID	113(下記①参照)	①
子局 2 SERIAL	下記①参照	①
子局 2 ユニット ID	114(下記①参照)	①
子局 3 SERIAL	下記①参照	①
子局 3 ユニット ID	115(下記①参照)	①

① 子局 1 の SERIAL または、ユニット ID を入力してください。

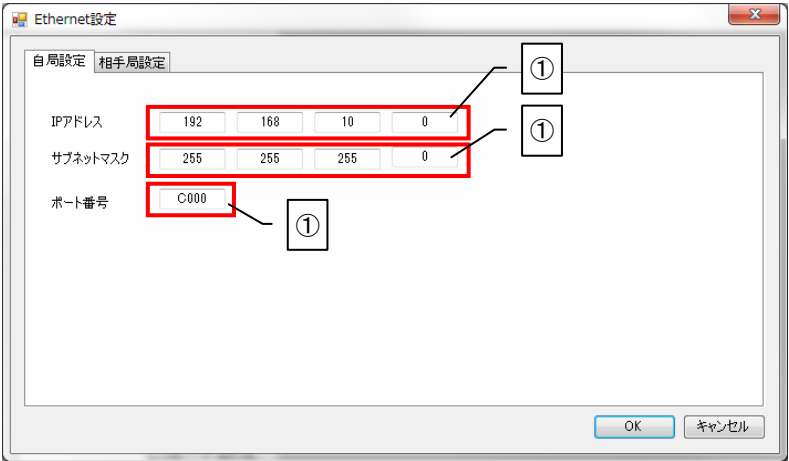
ユニット ID が空白の状態 で SERIAL を入力すると、SERIAL の上位 3 桁がユニット ID として入力されます。
(SERIAL は定格銘板又は子局 P102 をご参照ください。)

子局の定格銘板の、
「SERIAL」を入力する
と自動でユニット ID も
入力されます。



図付録 3-4 SERIAL 確認方法

【Ethernet 設定】
Ethernet 設定を行います。



図付録 3-5 Ethernet 設定自局設定



図付録 3-6 Ethernet 設定相手局設定

表付録 3-3 Ethernet 設定 設定値

パラメータ内容	設定値	参照
自局 IP アドレス	192.168.10.0	①
自局ポート番号	C100	①
サブネットマスク	255.255.255.0	①
相手局 IP アドレス	192.168.10.101	②
相手局ポート番号	C000	②
ビット入力開始番号	100	③
ビット出力開始番号	100	③
ワード入力開始番号	100	③
ワード出力開始番号	200	③

- ①自局ユニットの IP アドレス・サブネットマスク・ポート番号を設定します。
- ②相手局の IP アドレスとポート番号を設定します。
- ③入出力を行うビット・ワードデバイスの開始アドレスを設定します。
(この開始アドレスより前詰めでデータを格納いたします。)

※Ethernet 設定は構築環境に合わせた設定を行ってください。
特に IP アドレス、サブネットマスク、ポート番号は相手局と一致していないと通信できません。
ネットワーク上で接続する場合は設定内容をネットワーク管理者にご相談ください。
無線ユニットとシーケンサを直接接続する場合は上記サンプル設定値で通信可能です。
上記サンプル設定値をシーケンサの Ethernet 設定にも設定してください。